

# 奥多摩町まちづくり住民アンケート調査

## 調査結果報告書

〔平成 29 年度版〕

平成 30 年 3 月

東京都 奥多摩町



## 【目次】

I. 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の方法 .....	1
3. 回収状況 .....	1
4. グラフ中の標記について .....	1
II. 調査結果 .....	2
【回答者の属性】 .....	2
問 1 性別 .....	2
問 2 年齢 .....	2
問 3 家族構成 .....	3
問 4 既婚・未婚の状況 .....	3
問 5 居住地区 .....	3
【奥多摩町での住み良さについて】 .....	4
問 6 奥多摩町の住み良さ .....	4
問 7 居留意向 .....	5
【奥多摩町での行政運営について】 .....	6
問 8 住民意向の町政（まちづくり）への反映 .....	6
問 9 まちづくりへの取り組みの評価 .....	7
問 10 行政・まちづくりへの住民参加状況 .....	8
問 11 幸福度評価 .....	9
【奥多摩町のまちづくり施策について】 .....	10
問 12 奥多摩創造プロジェクトの進捗状況評価 .....	10
問 13 分野別施策の満足度と重要度 .....	12
問 14 主要施策の評価 .....	17
問 15 行政運営の満足度 .....	19
問 16 分野別行政運営の満足度 .....	20
問 17 町に対する意見や要望（自由意見） .....	23
III. 資料 .....	25
調査票 .....	25



# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、奥多摩町のまちづくりや施策、町政運営等に対する評価・意向を把握するために実施しました。

## 2. 調査の方法

- ◆調査地域 : 奥多摩町全域
- ◆調査対象 : 奥多摩町に居住する 16 歳以上の住民 1,500 名  
※住民基本台帳より無作為抽出
- ◆調査方法 : 郵送による配布・回収
- ◆調査時期 : 平成 30 年 2 月 15 日～2 月 28 日

## 3. 回収状況

- ◇配布数 : 1,500 票
- ◇有効回収数 : 556 票
- ◇有効回収率 : 37.1%

## 4. グラフ中の標記について

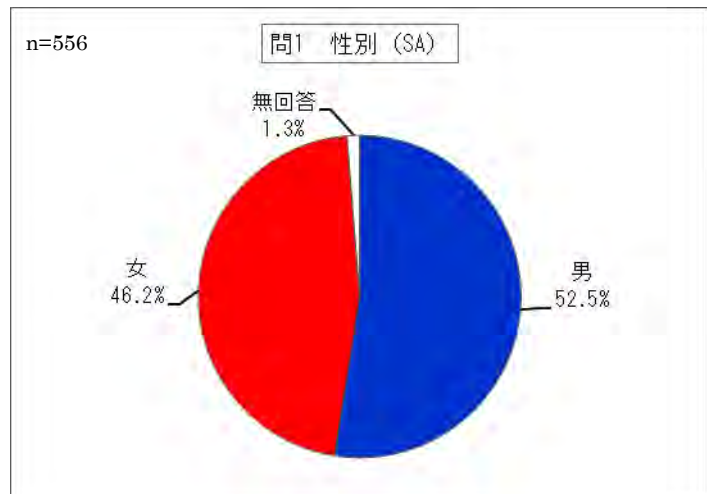
- ◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=556）です。基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記します。
- ◇各設問において、次の略称を使用しています。  
SA：シングルアンサー（一つだけ選択回答）

## Ⅱ. 調査結果

### 【回答者の属性】

#### 問1 性別

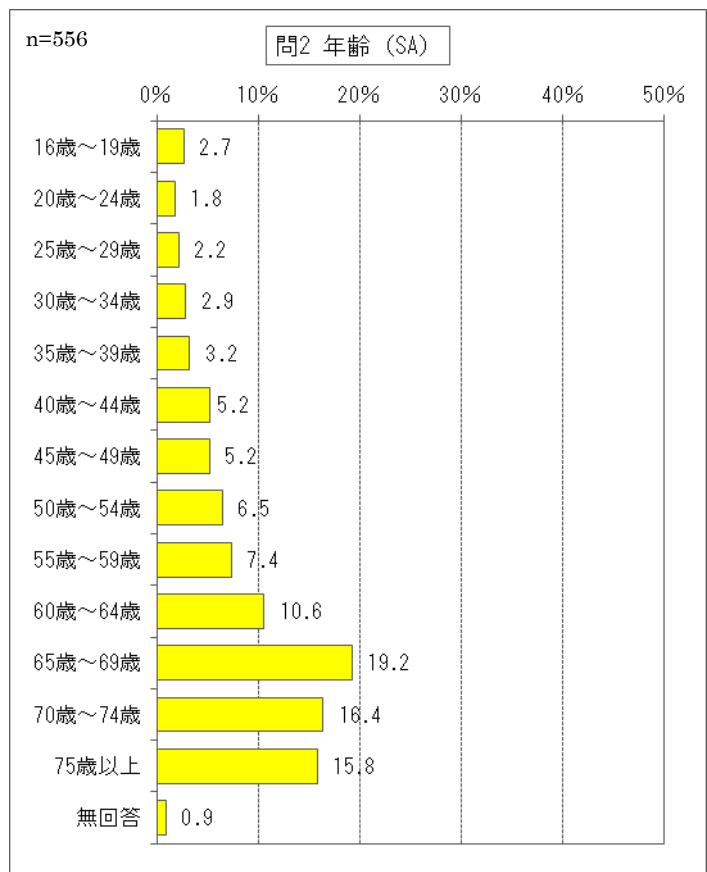
回答者の性別の割合は、「男性」が52.5% (292人)、「女性」が46.2% (257人)となっており、やや「男性」の割合が高くなっています。



#### 問2 年齢

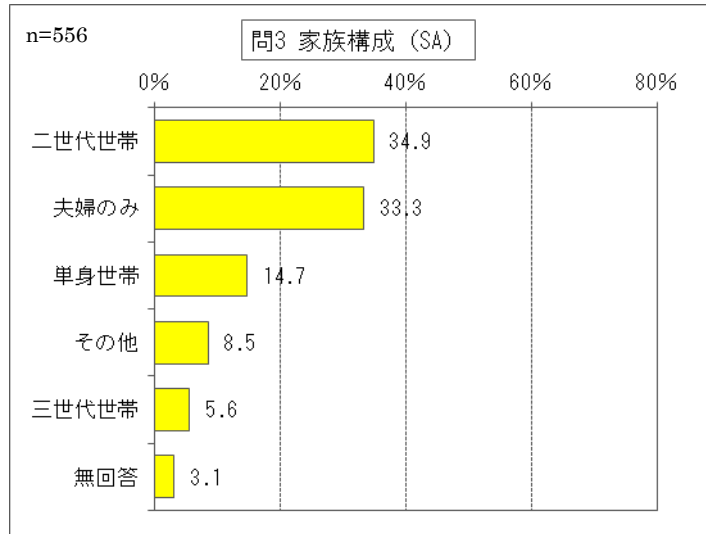
回答者の年齢の割合は、「65歳～69歳」が19.2% (107人)と最も高く、「70歳～74歳」が16.4% (91人)、「75歳以上」が15.8% (88人)、「60歳～64歳」が10.6% (59人)で続いています。

65歳以上の回答者が51.4%と、約半数を占めています。



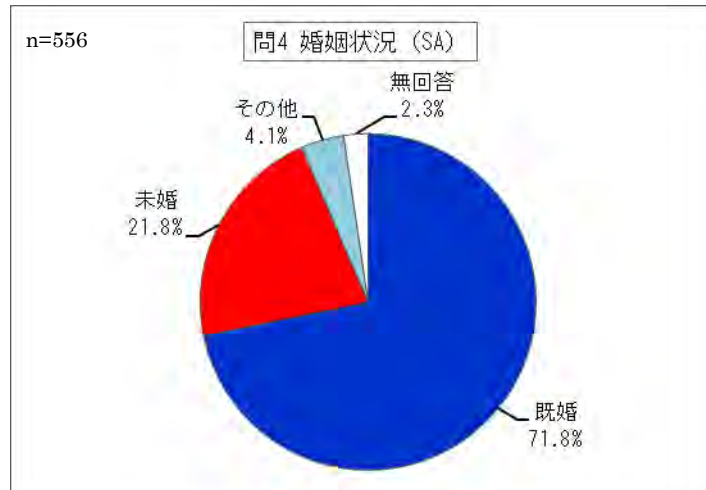
### 問3 家族構成

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が34.9%(194人)、「夫婦のみ」が33.3%(185人)と高く、「単身世帯」が14.7%(82人)で続いています。



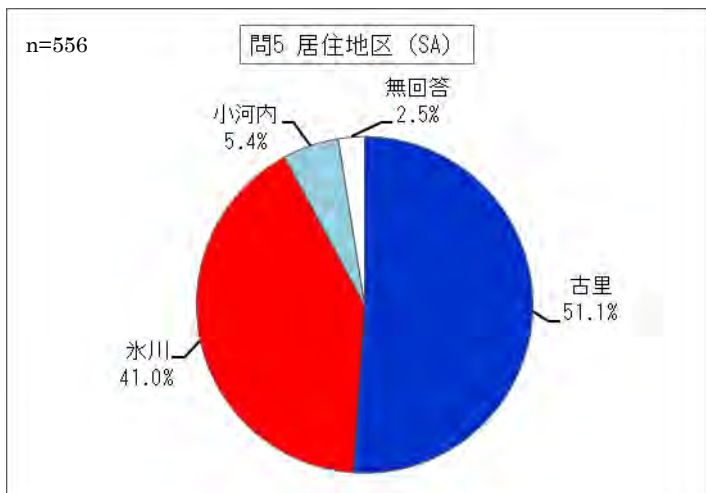
### 問4 既婚・未婚の状況

回答者の婚姻状況は、「既婚」が71.8%(399人)と高く、「未婚」は21.8%(121人)にとどまっています。



### 問5 居住地区

回答者の居住地区は、「古里」地区が51.1%(284人)、「氷川」地区が41.0%(228人)と2つの地区が高い割合を占め、「小河内」地区は5.4%(30人)となっています。



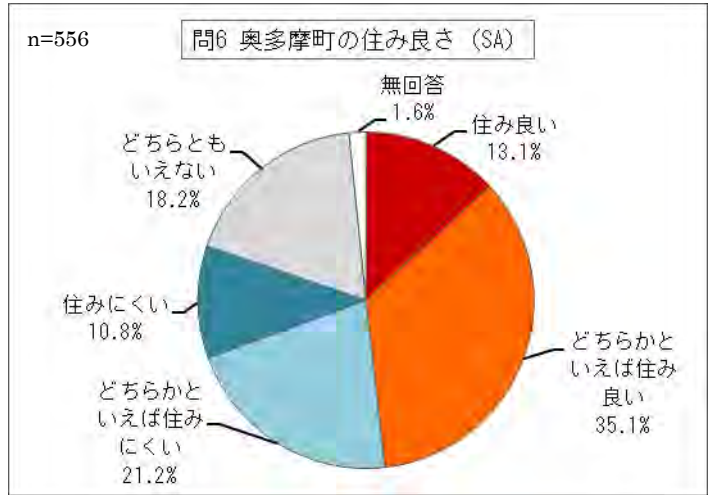
## 【奥多摩町での住み良さについて】

### 問 6 奥多摩町の住み良さ

奥多摩町の現在の住み良さについては、“住み良い”（「住み良い」13.1%と「どちらかといえば住み良い」35.1%を合わせた回答）が48.2%となっています。

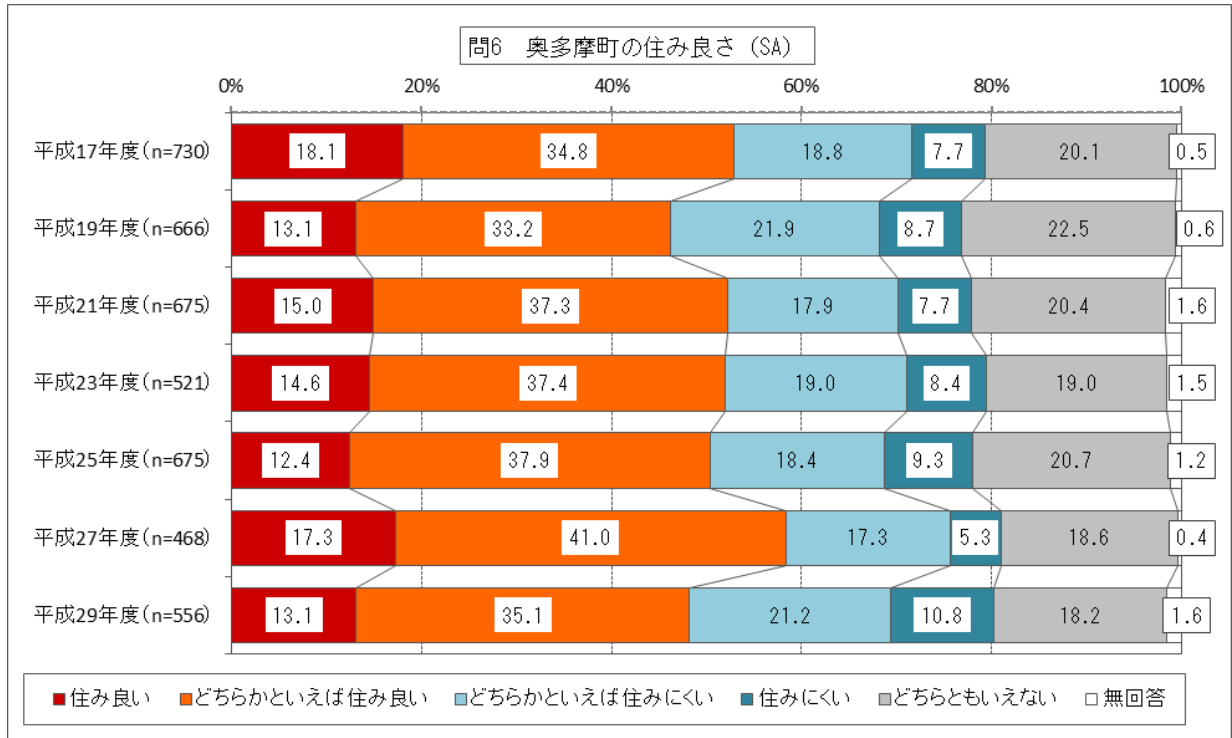
一方、“住みにくい”（「どちらかといえば住みにくい」21.2%と「住みにくい」10.8%を合わせた回答）は32.0%となっており、“住み良い”が上回っています。

また、「どちらともいえない」は18.2%となっています。



過去実施した調査結果を比較すると、“住み良い”（「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせた回答）は、平成17年度が52.9%、平成19年度が46.3%、平成21年度が52.3%、平成23年度が52.0%、平成25年度が50.3%、平成27年度が58.3%、平成29年度が48.2%となっています。

前回の平成27年度においては“住み良い”が6割近くと高い回答割合でしたが、平成29年度では平成25年度以前と比べても低く、5割を割る結果となっています。



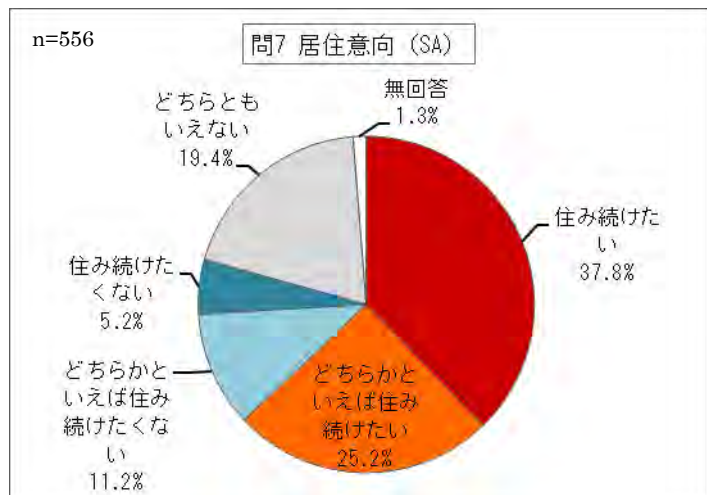


## 問7 居住意向

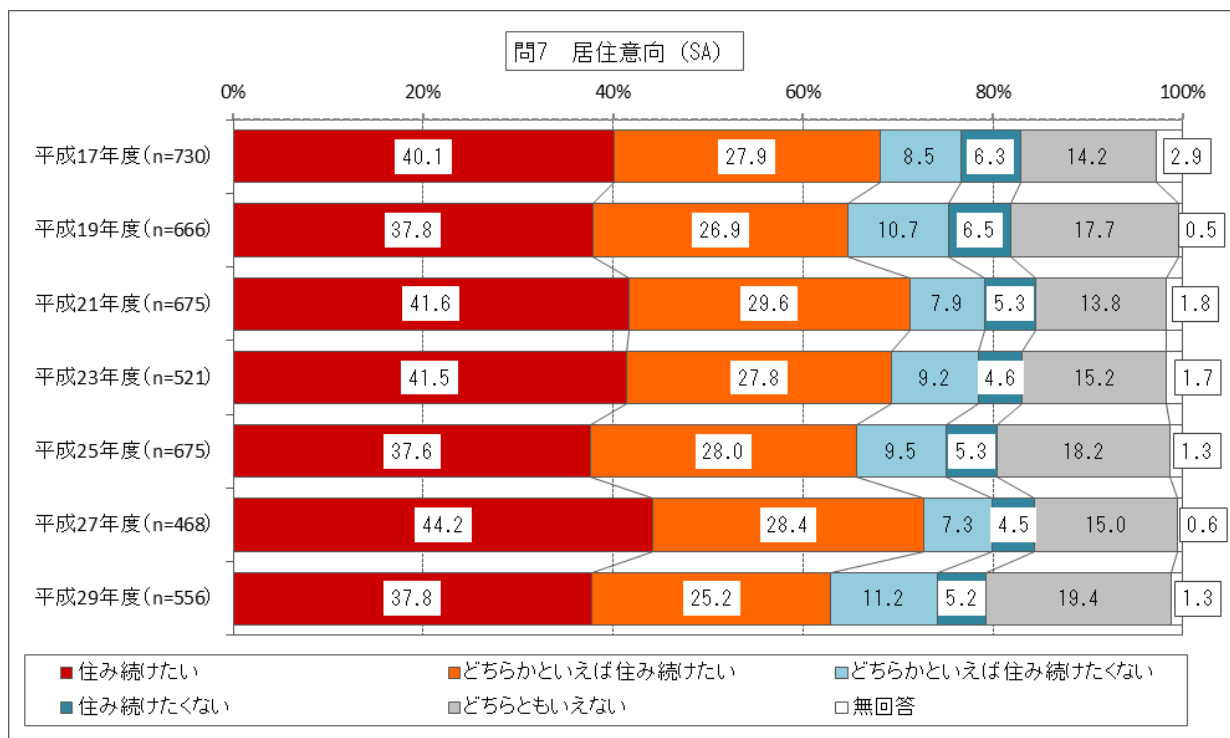
奥多摩町での居住意向は、“住み続けたい”（「住み続けたい」37.8%と「どちらかといえば住み続けたい」25.2%を合わせた回答）が63.0%となっています。

一方、“移転したい”（「どちらかといえば住み続けたくない」11.2%と「住み続けたくない」5.2%を合わせた回答）は16.4%となっており、“住み続けたい”が上回っています。

また、「どちらともいえない」は19.4%となっています。



過去実施した調査結果を比較すると、“住み続けたい”（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた回答）は、平成17年度が68.0%、平成19年度が64.7%、平成21年度が71.2%、平成23年度が69.3%、平成25年度が65.6%、平成27年度が72.6%、平成29年度が63.0%となっており、6~7割前後で推移していましたが、平成29年度調査ではこれまでで最も低い結果となっています。

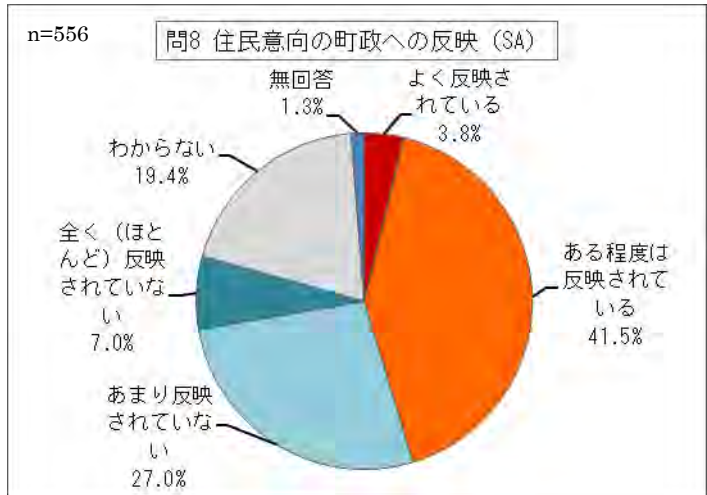


【奥多摩町での行政運営について】

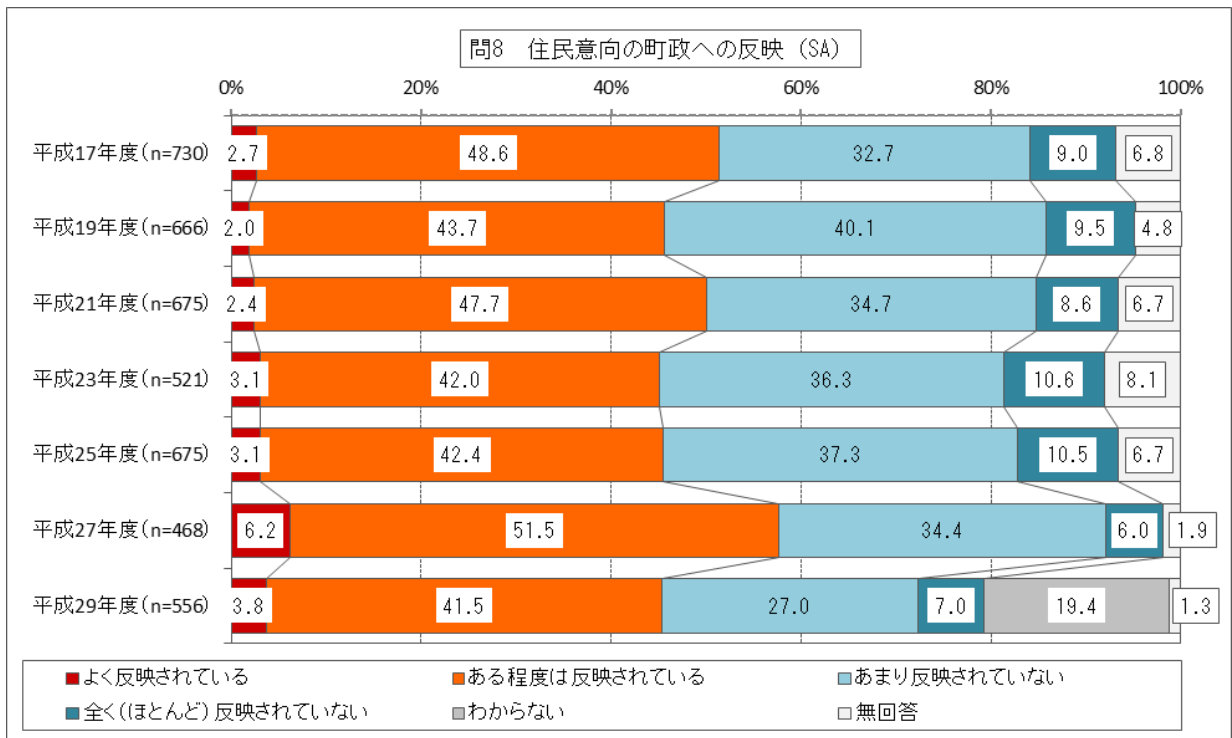
問 8 住民意向の町政（まちづくり）への反映

住民意向の町政への反映については、“反映されている”（「よく反映されている」3.8%と「ある程度は反映されている」41.5%を合わせた回答）が45.3%となっています。

一方、“反映されていない”（「あまり反映されていない」27.0%と「全く（ほとんど）反映されていない」7.0%を合わせた回答）は34.0%となっており、“反映されている”が上回っています。



過去実施した調査結果を比較すると、“反映されている”（「よく反映されている」と「ある程度は反映されている」を合わせた回答）は、平成17年度が51.3%、平成19年度が45.7%、平成21年度が50.1%、平成23年度が45.1%、平成25年度が45.5%、平成27年度が57.7%、平成29年度が45.3%となっており、“反映されている”が“反映されていない”を上回っているものの、前回調査（平成27年度調査）から10ポイント低下しています。



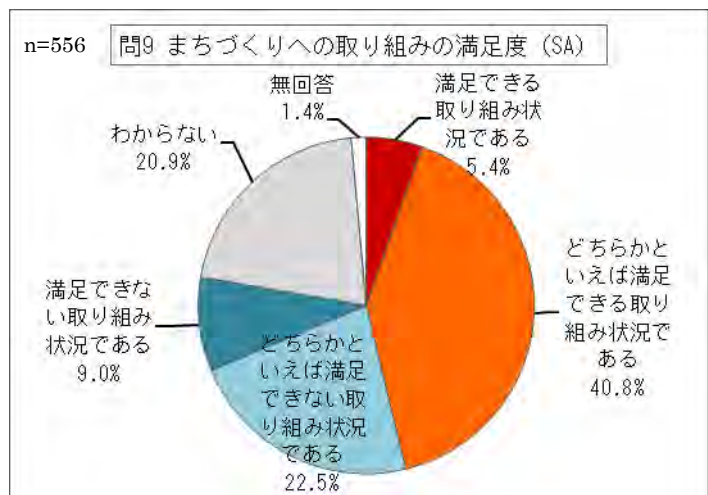
なお、今回調査（平成29年度調査）においては回答選択肢に「わからない」を追加していますが、「無回答」の回答割合が前回と大きな違いがないことから、肯定的評価（“反映されている”）と否定的評価（“反映されていない”）のどちらも判断できない回答者が「わからない」を選択したと想定され、結果として肯定的評価と否定的評価の割合が低下している要因と考えられます。

### 問9 まちづくりへの取り組みの評価

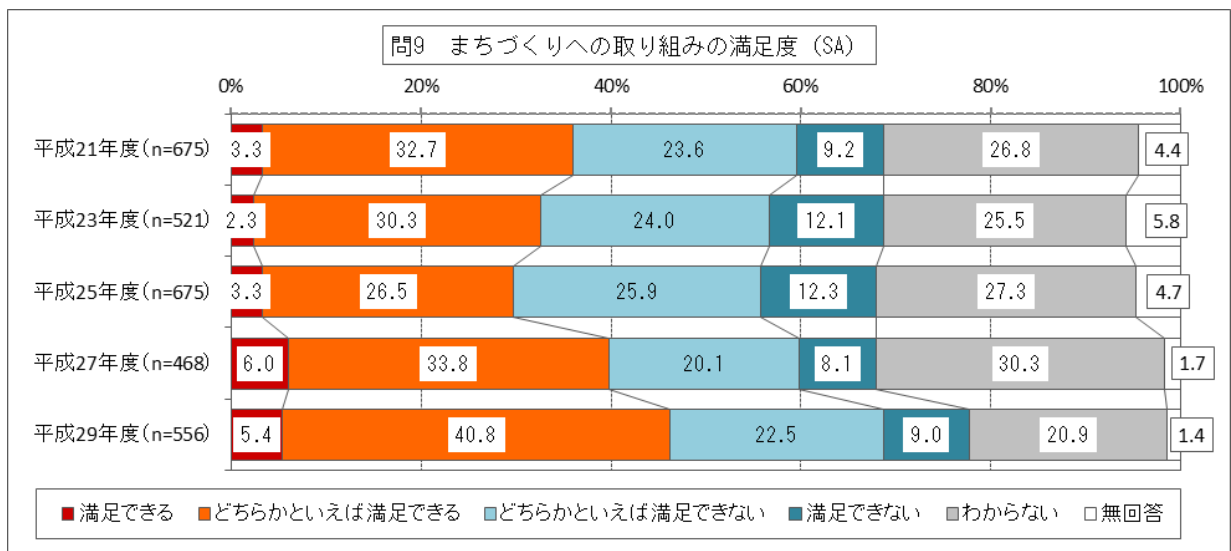
奥多摩町のまちづくりへの取り組みの評価は、“満足できる”（「満足できる取り組み状況である」5.4%と「どちらかといえば満足できる取り組み状況である」40.8%を合わせた回答）が46.2%となっています。

一方、“満足できない”（「どちらかといえば満足できない取り組み状況である」22.5%と「満足できない取り組み状況である」9.0%を合わせた回答）は31.5%となっており、“満足できる”が上回っています。

また、「わからない」は20.9%となっています。



過去実施した調査結果を比較すると、“満足できる”（「満足できる」と「どちらかといえば満足できる」を合わせた回答）は、平成21年度が36.0%、平成23年度が32.6%、平成25年度が29.8%、平成27年度が39.8%、平成29年度が46.2%となっており、満足度はこれまでで最も高い評価となっています。

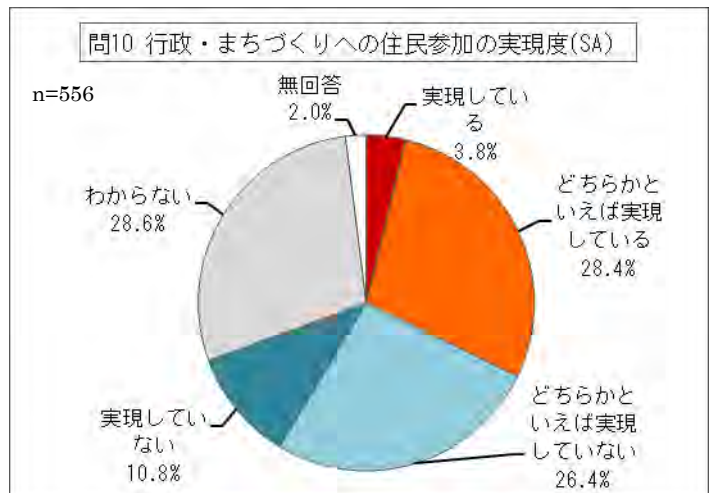


平成29年度調査結果を前問（問8）の結果と合わせて見ると、肯定的評価、否定的評価ともほぼ同程度の回答割合となっていますが、平成27年度における「住民意向の町政（まちづくり）への反映」での回答結果と「まちづくりへの取り組みの評価」の結果と比べ、平成29年度調査では「まちづくりへの取り組みの評価」が高まっているといえます。

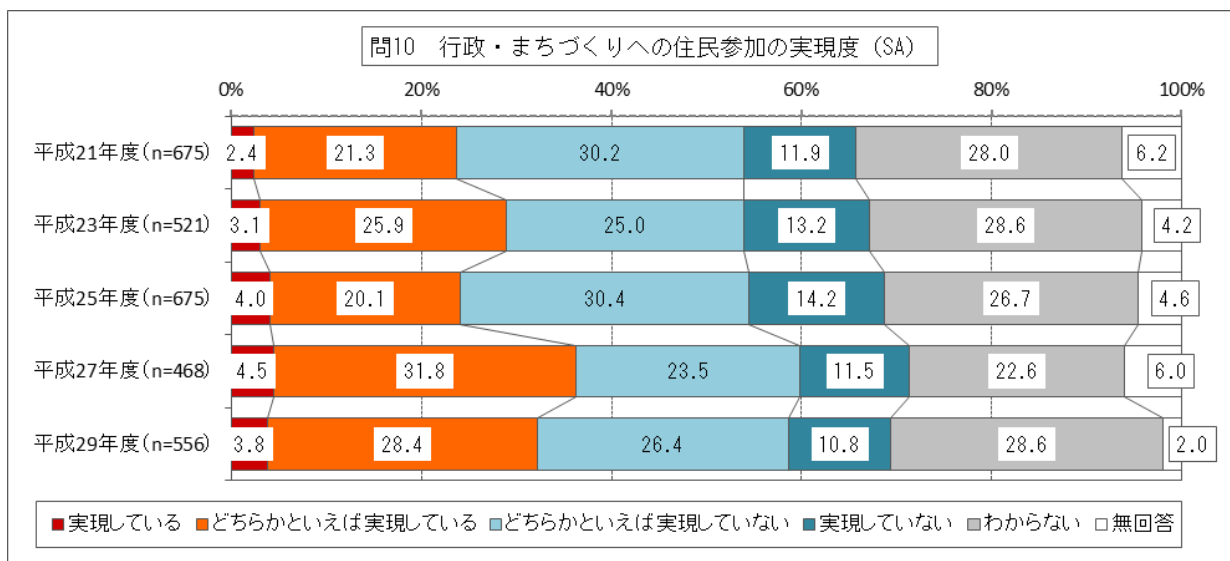
## 問10 行政・まちづくりへの住民参加状況

行政・まちづくりへの住民参加の状況については、“実現している”（「実現している」3.8%と「どちらかといえば実現している」28.4%を合わせた回答）が32.2%となっています。

一方、“実現していない”（「どちらかといえば実現していない」26.4%と「実現していない」10.8%を合わせた回答）は37.2%となっており、“実現していない”が上回る結果となっています。



過去実施した調査結果を比較すると、“実現している”（「実現している」と「どちらかといえば実現している」を合わせた回答）は、平成21年度が23.7%、平成23年度が29.0%、平成25年度が24.1%、平成27年度が36.3%、平成29年度が32.2%となっており、平成27年度を除き、平成21年度、平成23年度、平成25年度、平成29年度では“実現していない”が“実現している”を上回っています。



なお、平成25年度調査結果以前と比較すると、平成27年度調査結果と平成29年度調査結果における肯定的評価（“実現している”）と否定的評価（“実現していない”）の回答割合は拮抗しており、「行政・まちづくりへの住民参加」は進んでいるといえます。

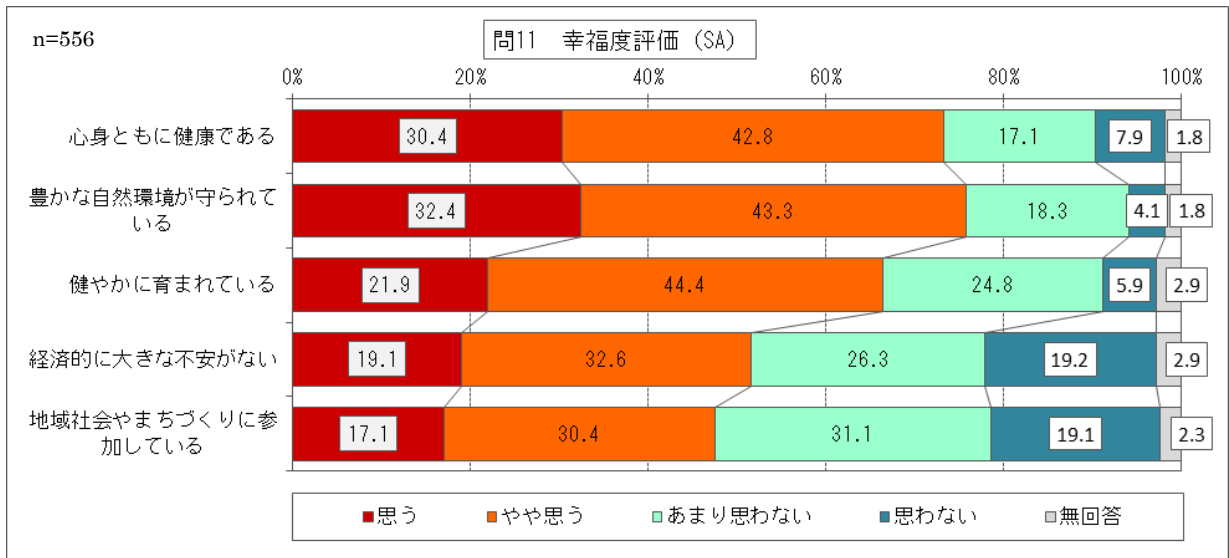
## 問 11 幸福度評価

『第5期奥多摩町長期総合計画』では、本町が魅力あるすばらしいまちであることを示す視点として、「住んでよかった」「住み続けたい」と住民が思うことであり、それに対応する指標として

奥多摩型住民総幸福度

を定めています。

平成29年度調査における幸福要素1から幸福要素5の評価結果は、以下のとおりとなっています。



幸福度評価の回答割合が最も高い項目は、幸福要素1「豊かな自然環境が守られている」であり、「そう思う」（「思う」と「やや思う」を合わせた回答）は75.7%と、回答者の四人に三人が幸福と思うと評価しています。

次いで、幸福要素2「心身ともに健康である」の“そう思う”が73.2%、幸福要素3「健やかに育まれている」が66.3%、幸福要素4「経済的に大きな不安がない」が51.7%、幸福要素5「地域社会やまちづくりに参加している」が47.5%と続いています。

また、各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数（※無回答を除く）を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出した加重平均値は以下のとおりとなります。（※最高値は2.00、最低値は-2.00、基準値は±0）

〔選択肢〕	点数	幸福要素	加重平均値
思う	+2	心身ともに健康である	0.72
やや思う	+1	豊かな自然環境が守られている	0.83
あまり思わない	-1	健やかに育まれている	0.53
思わない	-2	経済的に大きな不安がない	0.06
		地域社会やまちづくりに参加している	-0.05

【奥多摩町のまちづくり施策について】

問 12 奥多摩創造プロジェクトの進捗状況評価

奥多摩創造プロジェクトの進捗状況評価については、“進んでいる”（「進んでいる」と「まあまあ進んでいる」を合わせた回答）が、“進んでいない”（「あまり進んでいない」と「進んでいない」を合わせた回答）を上回るプロジェクトは、

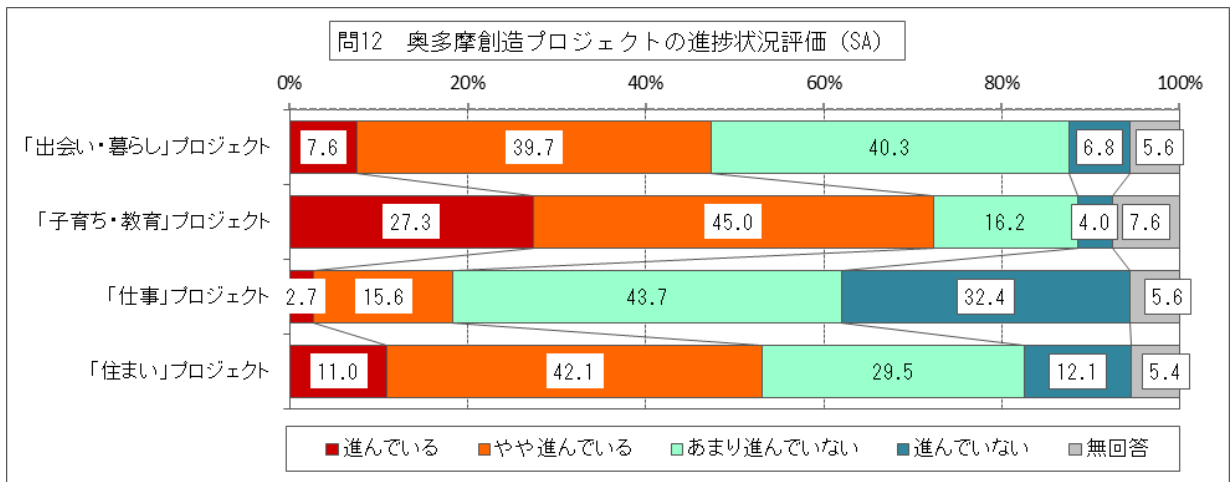
- 「出会い・暮らし」プロジェクト
- 「子育て・教育」プロジェクト
- 「住まい」プロジェクト

の3プロジェクトとなっています。

これらの“進んでいる”割合は、「子育て・教育」プロジェクトが72.3%と最も高く、次いで「住まい」プロジェクトが53.1%、「出会い・暮らし」プロジェクトが47.3%となっています。

ただし、「出会い・暮らし」プロジェクトは、“進んでいる”の回答割合（47.3%）と“進んでいない”（47.1%）の回答割合はほぼ同じとなっています。

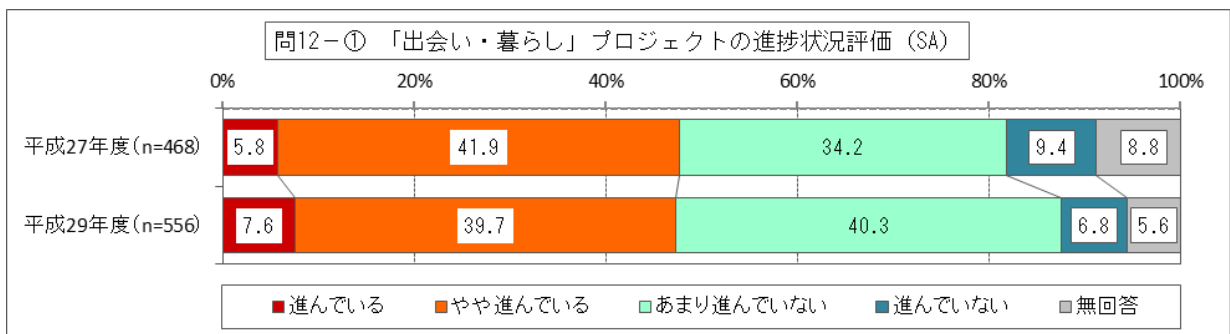
一方、“進んでいる”よりも、“進んでいない”が上回るプロジェクトは、「仕事」プロジェクトで、“進んでいない”割合は76.1%と高くなっています。



【前回調査との比較】

「出会い・暮らし」プロジェクト

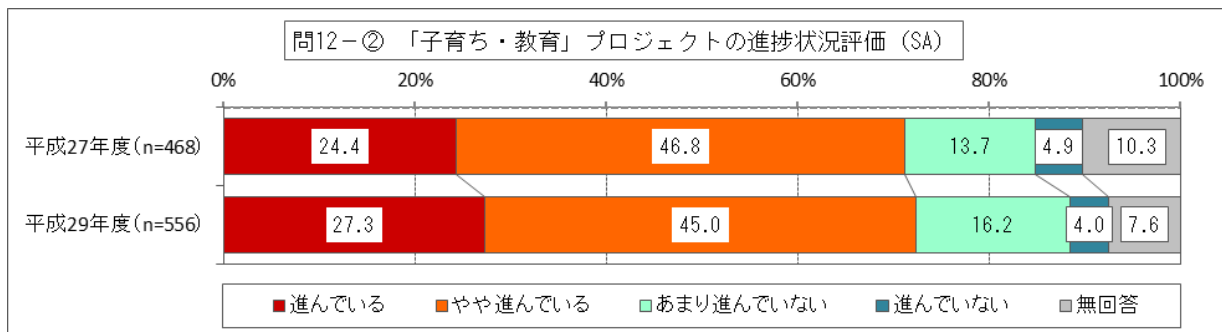
平成27年度調査と平成29年度調査の結果を比較すると、“進んでいる”（「進んでいる」と「まあまあ進んでいる」を合わせた回答）はほぼ同じ回答割合となっていますが、「あまり進んでいない」の回答割合が増加しています。





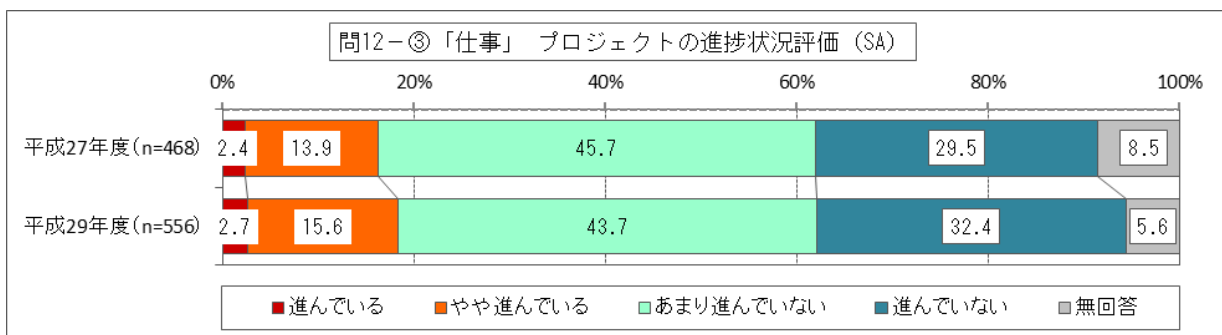
### 「子育て・教育」プロジェクト

平成27年度調査と平成29年度調査の結果を比較すると、“進んでいる”（「進んでいる」と「まあまあ進んでいる」を合わせた回答）はほぼ同じ回答割合となっていますが、「あまり進んでいない」の回答割合がわずかながら増加しています。



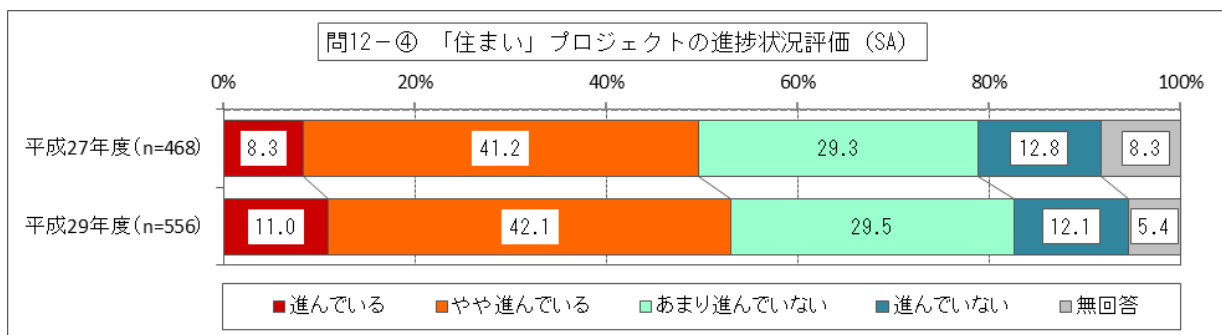
### 「仕事」プロジェクト

平成27年度調査と平成29年度調査の結果を比較すると、“進んでいる”（「進んでいる」と「まあまあ進んでいる」を合わせた回答）はともに低い回答割合となっていますが、平成29年度調査では“進んでいる”の回答割合がわずかながら増加しています。



### 「住まい」プロジェクト

平成27年度調査と平成29年度調査の結果を比較すると、“進んでいない”（「あまり進んでいない」と「進んでいない」を合わせた回答）はほぼ同じ回答割合となっている一方、「進んでいる」の回答割合がわずかながら増加しています。



### 問 13 分野別施策の満足度と重要度

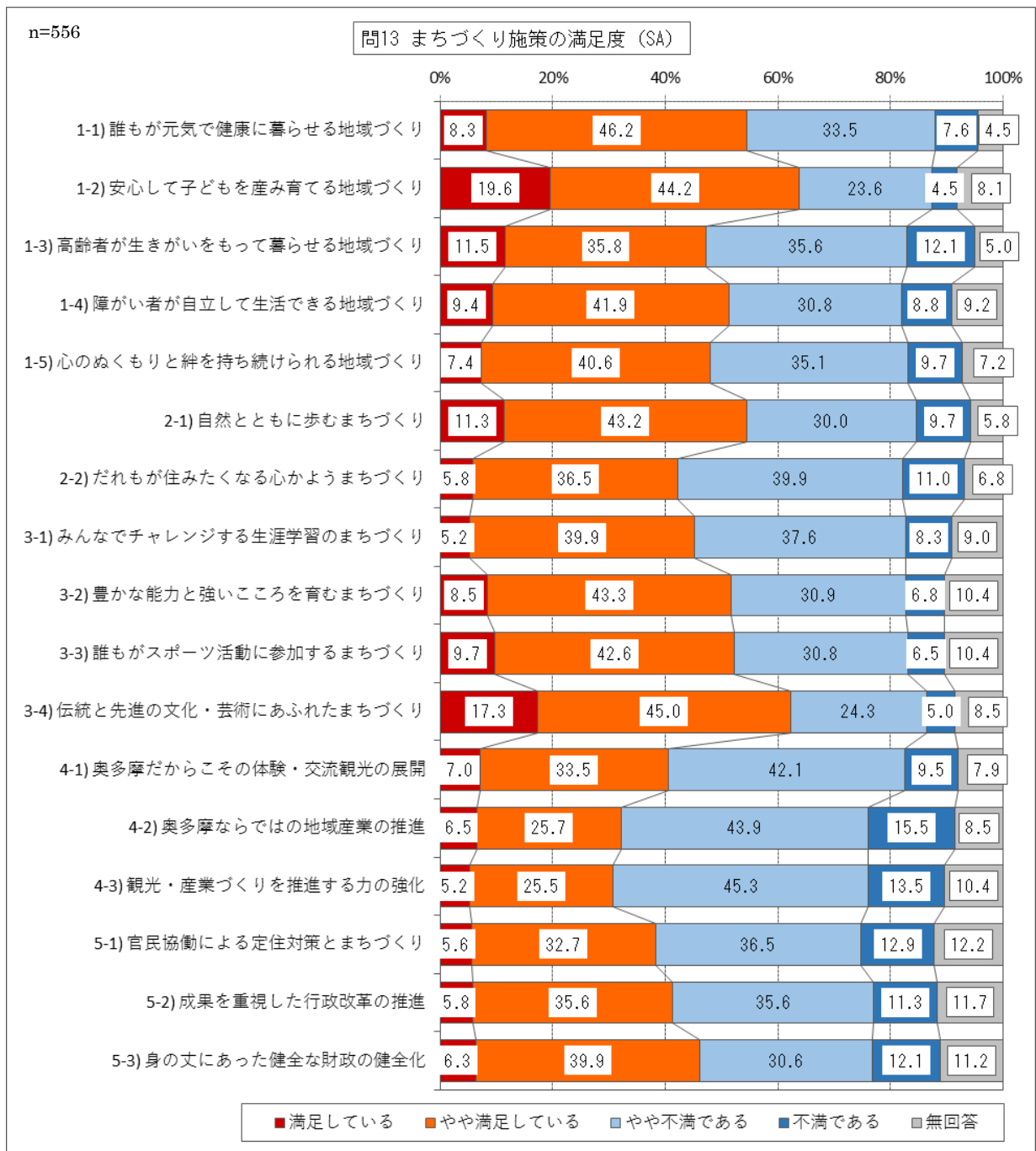
『第5期奥多摩町長期総合計画』では、5つの行政分野に計17の施策の方向（まちづくり施策）を定めています。

この17の施策の方向についての「満足度」と「今後の重要度」の回答結果は以下のとおりです。

#### 【満足度】

「1-2) 安心して子どもを産み育てる地域づくり」及び「3-4) 伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり」は6割を超える“満足度”となっています。

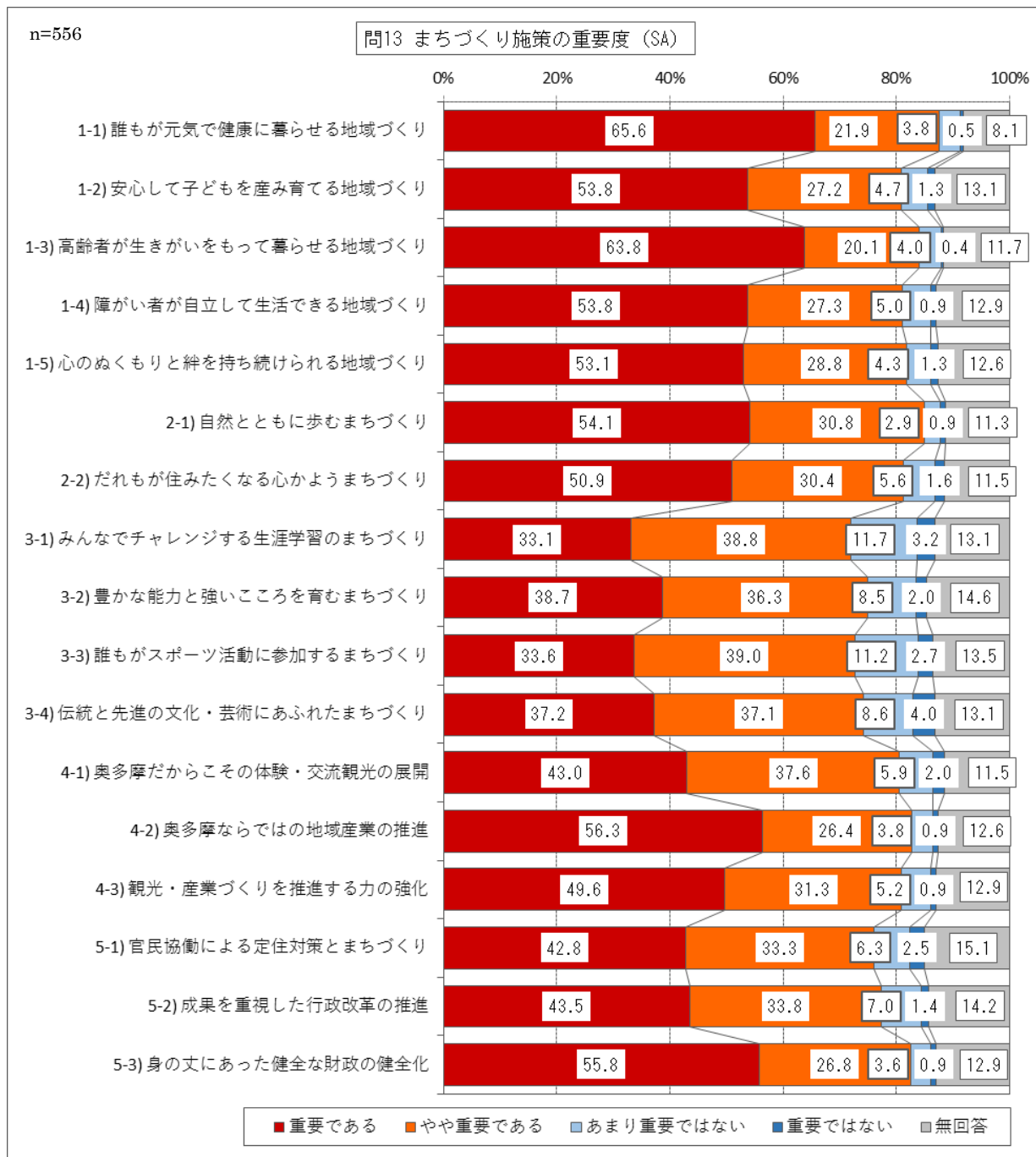
一方、「4-2) 奥多摩ならではの地域産業の推進」及び「4-3) 観光・産業づくりを推進する力の強化」は約3割の“満足度”にとどまっています。





【重要度】

17項目どれもが“重要度”が高い結果となっていますが、その中でも「1-1) 誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり」、「1-3) 高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり」及び「2-1) 自然とともに歩むまちづくり」は高い結果となっています。



**【満足度と重要度のマトリックス分析】**

まちづくり施策毎の「満足度」と「重要度」を組み合わせ、施策の位置づけを分析するものとします。

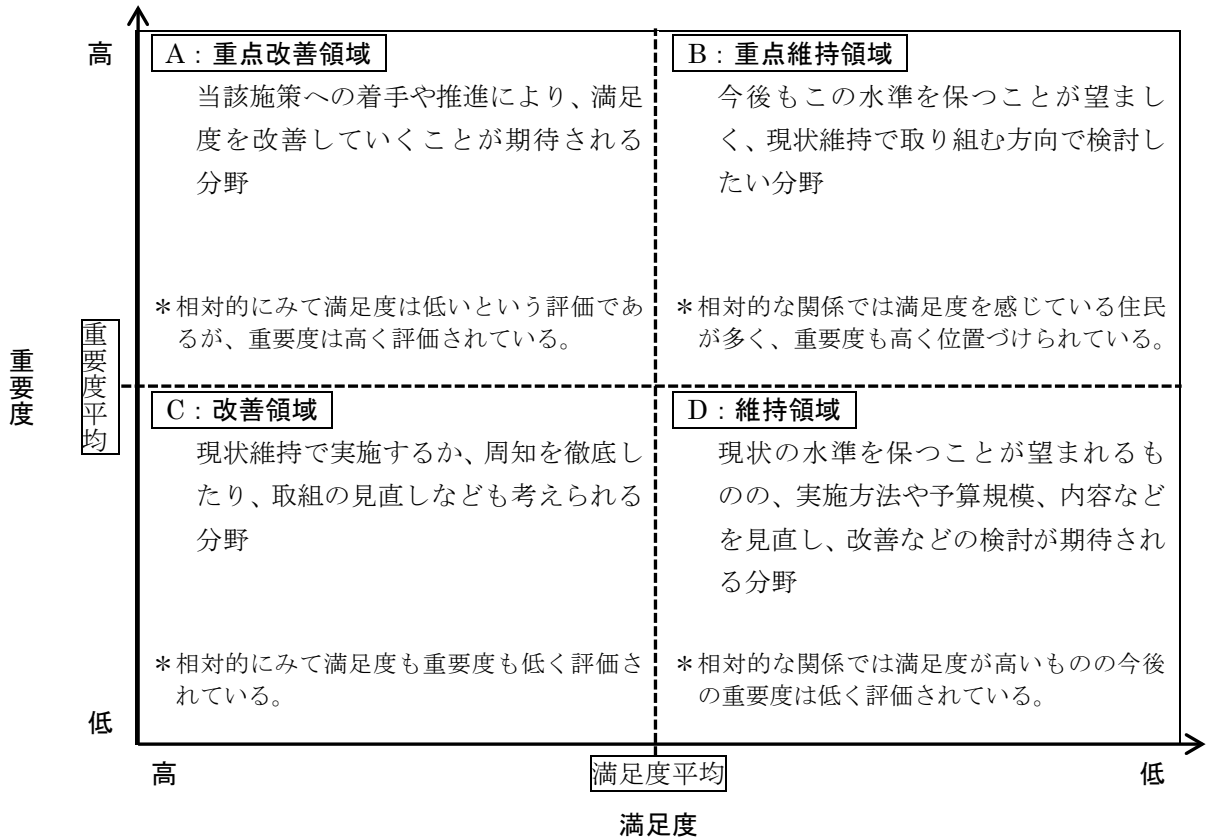
分析にあたっては、「満足度」と「重要度」を「評価点」によって点数化しますが、評価点とは、各選択肢への回答者数を加味した加重平均値です。

ここでは、各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数（※無回答を除く）を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出します。したがって、評価点は－2点～＋2点の範囲となり、数値が大きいほど評価が高くなります。

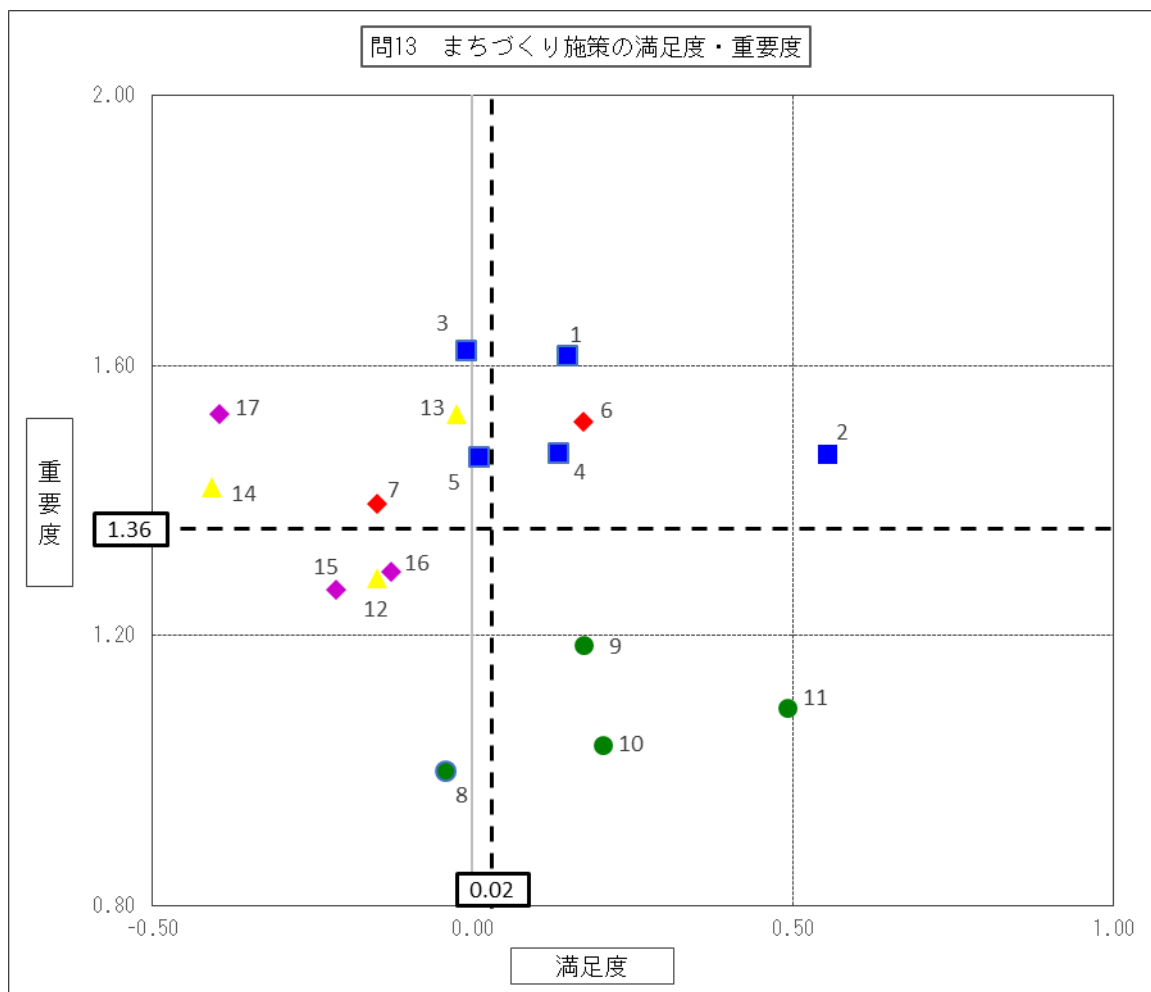
各選択肢の得点は次のように配点しています。

□満足度		■重要度	
[選択肢]	点数	[選択肢]	点数
満足している	+2	重要である	+2
やや満足している	+1	やや重要である	+1
やや不満である	-1	あまり重要ではない	-1
不満である	-2	重要ではない	-2

算出された評価点をもとに、各まちづくりの施策を、次の4つのタイプに分類します。



算出された評価点をもとに、まちづくりの施策をマトリックス図上に示すと、以下のとおりとなります。



まちづくり施策	区分	No.	満足度	重要度
1-1) 誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり	■	1	0.15	1.61
1-2) 安心して子どもを産み育てる地域づくり	■	2	0.55	1.47
1-3) 高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり	■	3	-0.01	1.62
1-4) 障がい者が自立して生活できる地域づくり	■	4	0.13	1.47
1-5) 心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり	■	5	0.01	1.47
2-1) 自然とともに歩むまちづくり	◆	6	0.17	1.52
2-2) だれもが住みたくなる心かようまちづくり	◆	7	-0.15	1.39
3-1) みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり	●	8	-0.04	1.00
3-2) 豊かな能力と強いところを育むまちづくり	●	9	0.17	1.19
3-3) 誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり	●	10	0.20	1.04
3-4) 伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり	●	11	0.49	1.09
4-1) 奥多摩だからこそその体験・交流観光の展開	▲	12	-0.15	1.28
4-2) 奥多摩ならではの地域産業の推進	▲	13	-0.39	1.53
4-3) 観光・産業づくりを推進する力の強化	▲	14	-0.41	1.42
5-1) 官民協働による定住対策とまちづくり	◆	15	-0.21	1.27
5-2) 成果を重視した行政改革の推進	◆	16	-0.13	1.29
5-3) 身の丈にあった健全な財政の健全化	◆	17	-0.02	1.53

A：重点改善領域：

当該施策への着手や推進により、満足度を改善していくことが期待される分野に位置付けられるまちづくり施策は、

1-3) 高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり
1-5) 心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり
2-2) だれもが住みたくなる心かようまちづくり
4-2) 奥多摩ならではの地域産業の推進
4-3) 観光・産業づくりを推進する力の強化
5-3) 身の丈にあった健全な財政の健全化

の6施策となります。

B：重点維持領域：

今後もこの水準を保つことが望ましく、現状維持で取り組む方向で検討したい分野に位置付けられるまちづくり施策は、

1-1) 誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり
1-2) 安心して子どもを産み育てる地域づくり
1-4) 障がい者が自立して生活できる地域づくり
2-1) 自然とともに歩むまちづくり

の4施策となります。

C：改善領域：

現状維持で実施するか、周知を徹底したり、取組の見直しなども考えられる分野に位置付けられるまちづくり施策は、

3-1) みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり
4-1) 奥多摩だからこそその体験・交流観光の展開
5-1) 官民協働による定住対策とまちづくり
5-2) 成果を重視した行政改革の推進

の4施策となります。

D：維持領域：

現状の水準を保つことが望まれるものの、実施方法や予算規模、内容などを見直し、改善などの検討が期待される分野に位置付けられるまちづくり施策は、

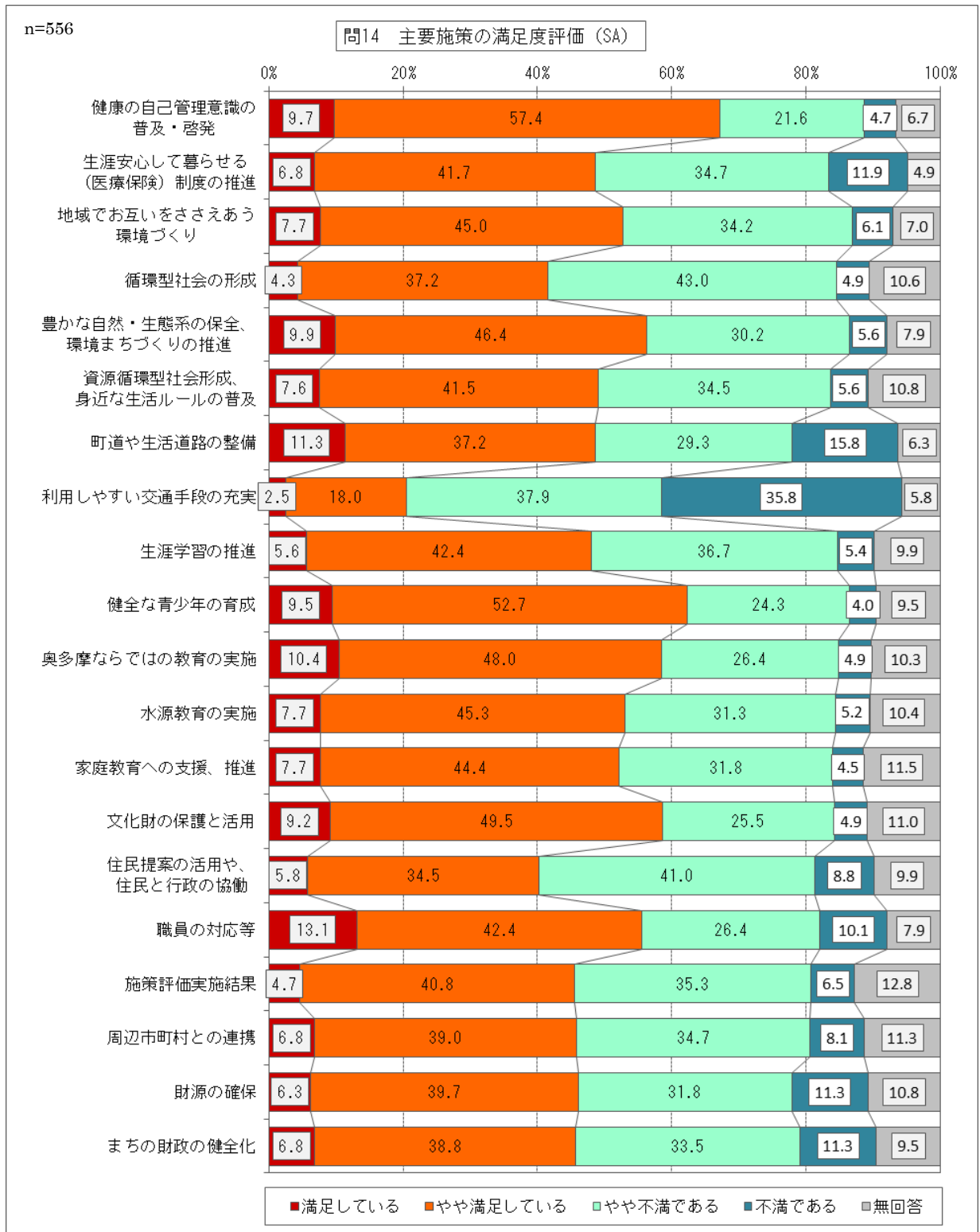
3-2) 豊かな能力と強いところを育むまちづくり
3-3) 誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり
3-4) 伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり

の3施策となります。

## 問 14 主要施策の評価

住民の満足度を評価の基準とすることとしている主要施策について、“満足”（「満足している」と「やや満足している」を合わせた回答）の回答割合が6割を超えている主要施策は、「健康の自己管理意識の普及・啓発」及び「健全な青少年育成」となっています。また、「奥多摩ならではの教育の実施」及び「文化財の保護と育成」が6割をわずかに下回る結果となっています。

一方、「利用しやすい交通手段の充実」及び「住民提案の活用や、住民と行政の協働」は“満足”の割合が他の施策に比べ低くなっています。



### 【前回調査との比較】

前回調査（平成 27 年度調査）と今回の調査（平成 29 年度調査）の“満足”（「満足している」と「やや満足している」を合わせた回答）の回答割合と、“不満足”（「やや不満足である」と「不満である」）の結果を比較すると下表のとおりとなっています。

“満足”では、前回調査結果に比べ今回調査結果の回答割合が 5 ポイント以上減少している項目は、

- 生涯安心して暮らせる（医療保険）制度の推進
- 利用しやすい交通手段の充実

の 2 項目となっています。

一方、“不満足”では、前回調査結果に比べ今回調査結果の回答割合が 5 ポイント以上減少している項目は、

- 健康の自己管理意識の普及・啓発
- 生涯安心して暮らせる（医療保険）制度の推進
- 地域でお互いをささえあう環境づくり
- 利用しやすい交通手段の充実
- 家庭教育への支援、推進
- 住民提案の活用や、住民と行政の協働

の 6 項目となっています。

	“満足” (%)		“不満足” (%)	
	H27	H29	H27	H29
健康の自己管理意識の普及・啓発	68.3	67.1	20.3	26.3
生涯安心して暮らせる（医療保険）制度の推進	54.9	48.5	35.5	46.6
地域でお互いをささえあう環境づくり	54.1	52.7	34.8	40.3
循環型社会の形成	—	41.5	—	47.9
豊かな自然・生態系の保全、環境まちづくりの推進	55.2	56.3	32.7	35.8
資源循環型社会形成、身近な生活ルール of 普及	48.5	49.1	37.0	40.1
町道や生活道路の整備	48.5	48.5	41.9	45.1
利用しやすい交通手段の充実	28.6	20.5	62.4	73.7
生涯学習の推進	47.2	48.0	37.8	42.1
健全な青少年の育成	57.9	62.2	26.9	28.3
奥多摩ならではの教育の実施	56.0	58.4	30.0	31.3
水源教育の実施	53.0	53.0	31.8	36.5
家庭教育への支援、推進	53.2	52.1	31.0	36.3
文化財の保護と活用	54.4	58.7	30.5	30.4
住民提案の活用や、住民と行政の協働	41.9	40.3	43.8	49.8
職員の対応等	—	55.5	—	36.5
施策評価実施結果	41.0	45.5	41.7	41.8
周辺市町村との連携	43.2	45.8	43.6	42.8
財源の確保	—	46.0	—	43.1
まちの財政の健全化	42.8	45.1	44.2	44.8

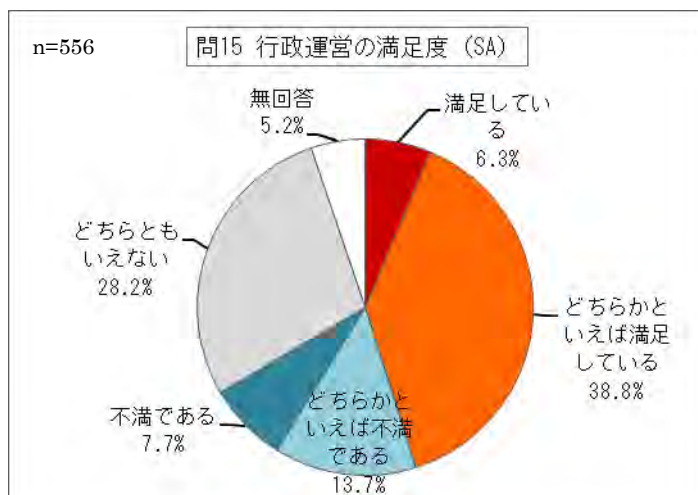
※表中の「—」は平成 27 年度調査において設問項目に含まず。

## 問 15 行政運営の満足度

奥多摩町の行政運営については、“満足”（「満足している」6.3%と「どちらかといえば満足している」38.8%を合わせた回答）が45.1%となっています。

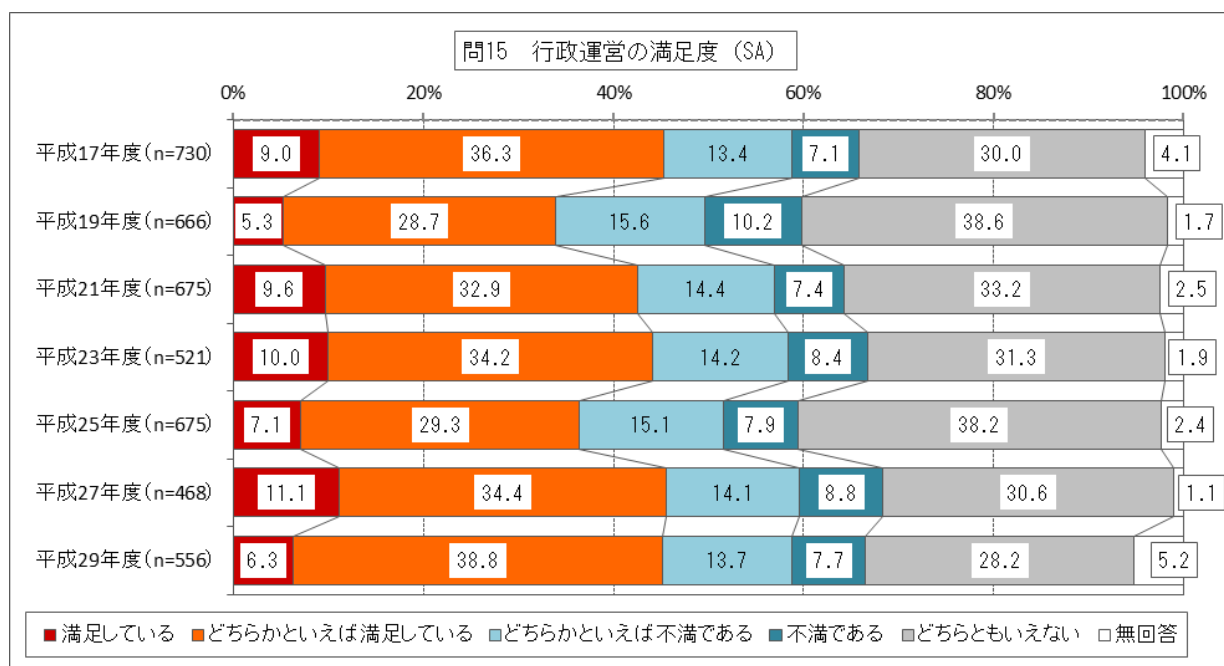
一方、“不満”（「どちらかといえば不満である」13.7%と「不満である」7.1%を合わせた回答）は21.4%となっており、“満足”が上回っています。

また、「どちらともいえない」は28.2%となっています。



過去実施した調査結果を比較すると、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた回答）は、平成17年度が45.3%、平成19年度が34.0%、平成21年度が42.5%、平成23年度が44.2%、平成25年度が36.4%、平成27年度が45.5%、平成29年度が45.1%となっており、平成19年度及び平成25年度を除き、ほぼ同じ回答割合（45%前後）となっています。

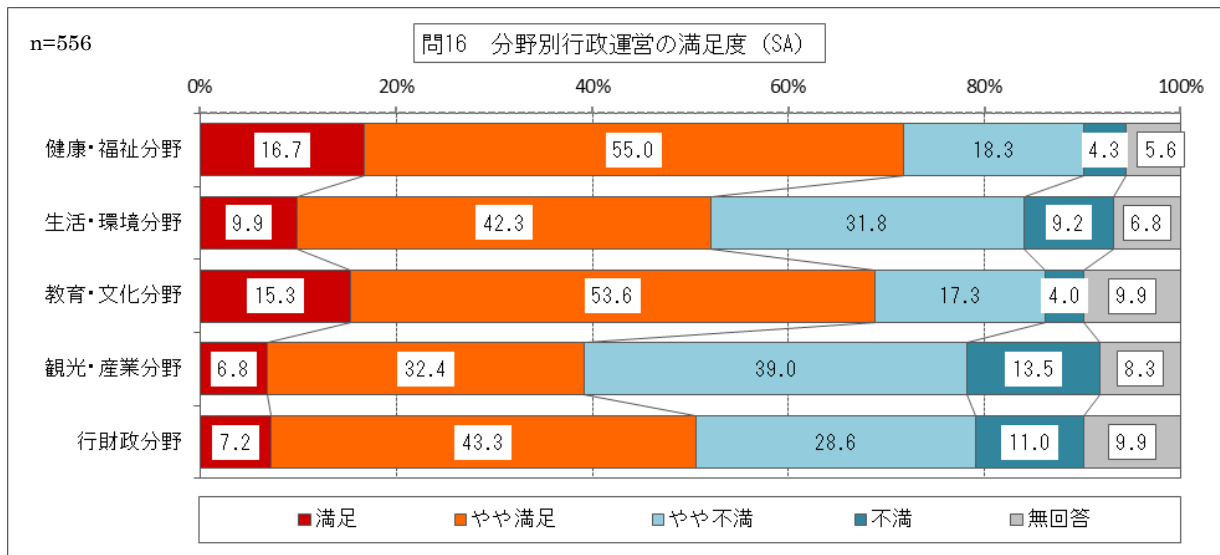
一方、“不満”（「どちらかといえば不満である」13.7%と「不満である」7.1%を合わせた回答）は、平成17年度が20.5%、平成19年度が25.8%、平成21年度が21.8%、平成23年度が22.6%、平成25年度が23.0%、平成27年度が22.9%、平成29年度が21.4%となっており、大きな変動なく推移しています。



## 問 16 分野別行政運営の満足度

分野別行政運営の満足度において、“満足”（「満足」と「やや満足」を合わせた回答）の割合の高い分野は、「健康・福祉分野」（71.7%）及び「教育・文化分野」（68.9%）となっています。

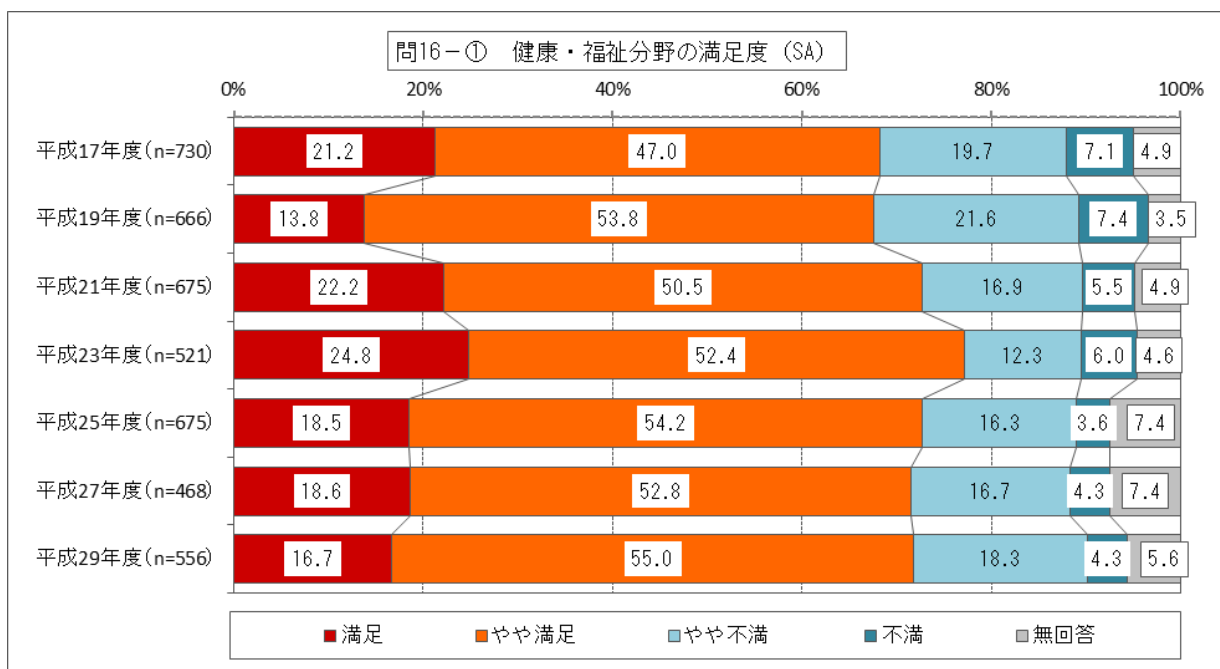
一方、“満足”の割合が低い分野は、「観光・産業分野」（39.2%）となっています。



### ①健康・福祉分野

過去実施した調査結果を比較すると、“満足”（「満足」と「やや満足」を合わせた回答）は、平成17年度が68.2%、平成19年度が67.6%、平成21年度が72.7%、平成23年度が77.2%、平成25年度が72.7%、平成27年度が71.4%、平成29年度が71.7%となっています。

本分野の“満足”は7割前後で推移しており、全体的に高い評価となっています。

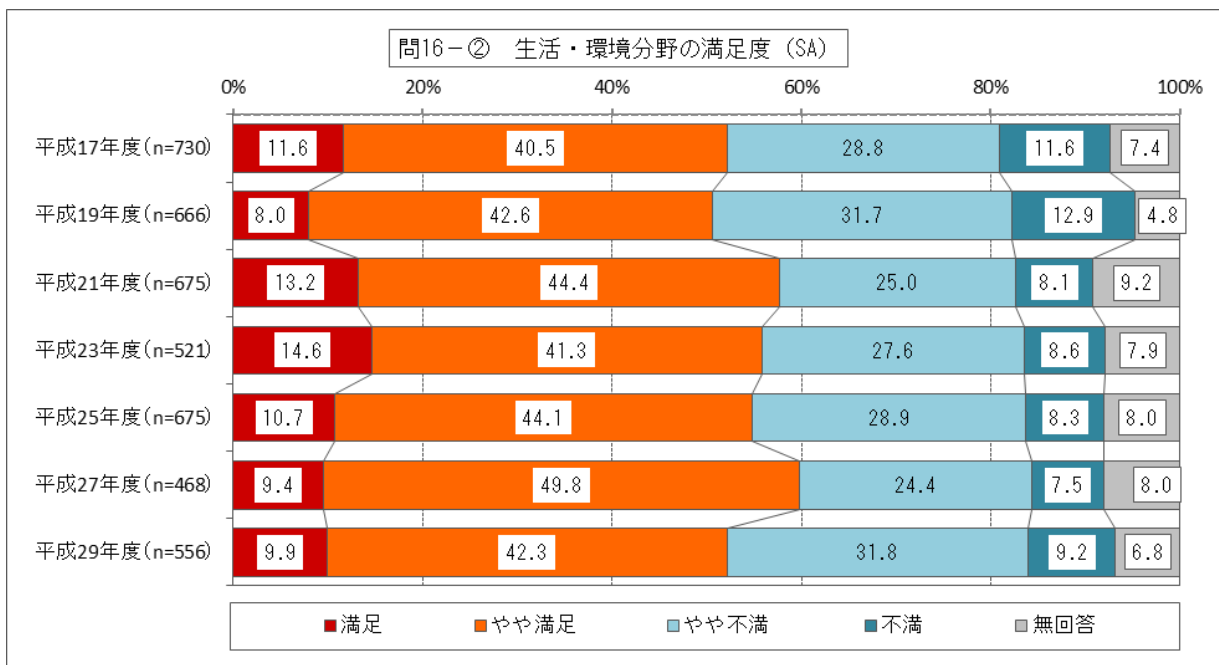




### ②生活・環境分野

過去実施した調査結果を比較すると、“満足”（「満足」と「やや満足」を合わせた回答）は、平成17年度が52.1%、平成19年度が50.6%、平成21年度が57.6%、平成23年度が55.9%、平成25年度が54.8%、平成27年度が59.2%、平成29年度が52.2%となっています。

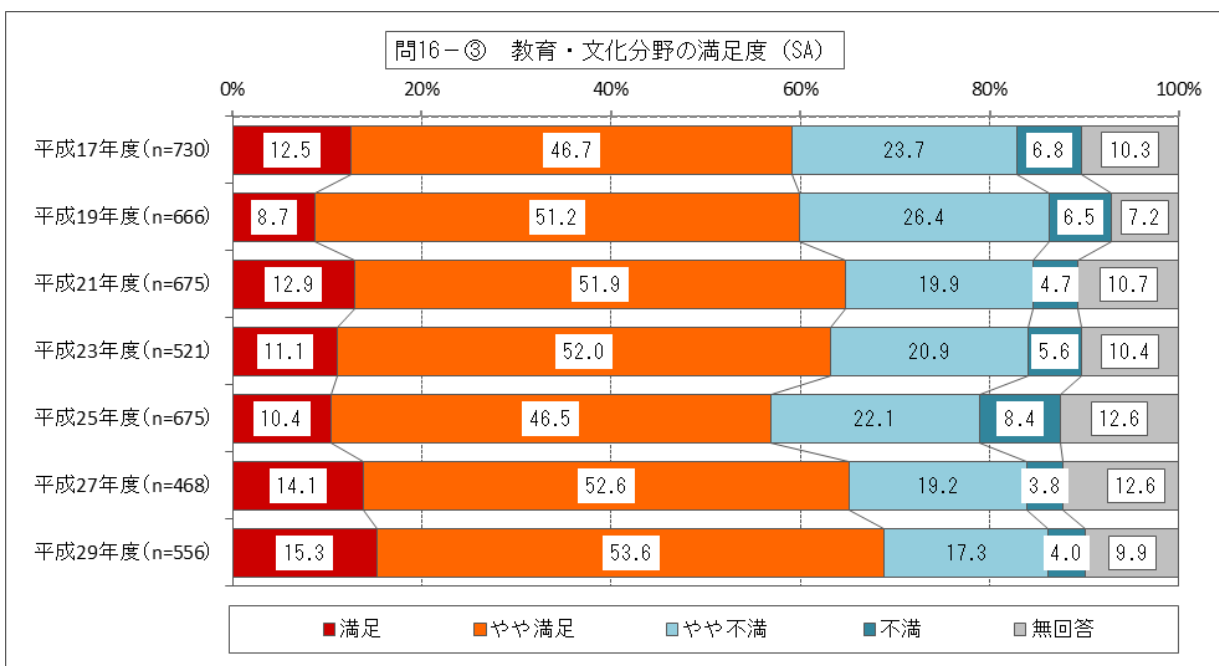
本分野の“満足”は年度により増減がみられますが、前回調査から減少する結果となっています。



### ③教育・文化分野

過去実施した調査結果を比較すると、“満足”（「満足」と「やや満足」を合わせた回答）は、平成17年度が59.2%、平成19年度が59.9%、平成21年度が64.8%、平成23年度が63.1%、平成25年度が56.9%、平成27年度が66.7%、平成29年度が68.9%となっています。

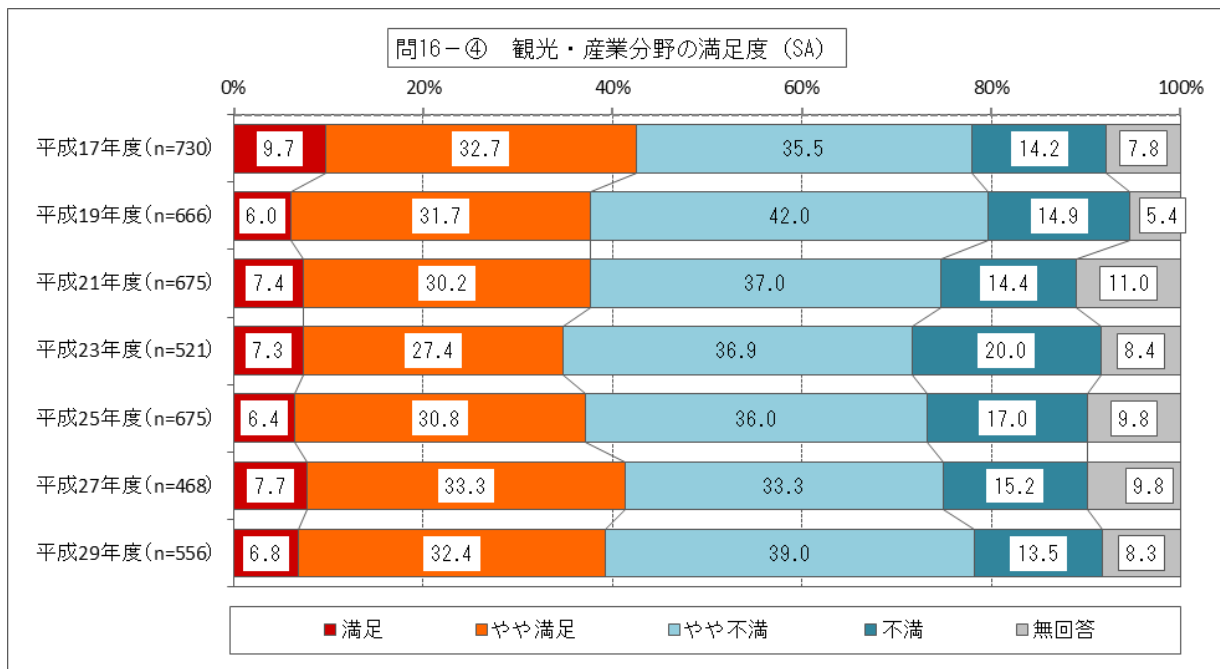
本分野の“満足”は6~7割前後で推移していますが、平成25年度以降増加傾向となっています。



#### ④観光・産業分野

過去実施した調査結果を比較すると、“満足”（「満足」と「やや満足」を合わせた回答）は、平成17年度が42.4%、平成19年度が37.7%、平成21年度が37.6%、平成23年度が34.7%、平成25年度が37.2%、平成27年度が41.0%、平成29年度が39.2%となっています。

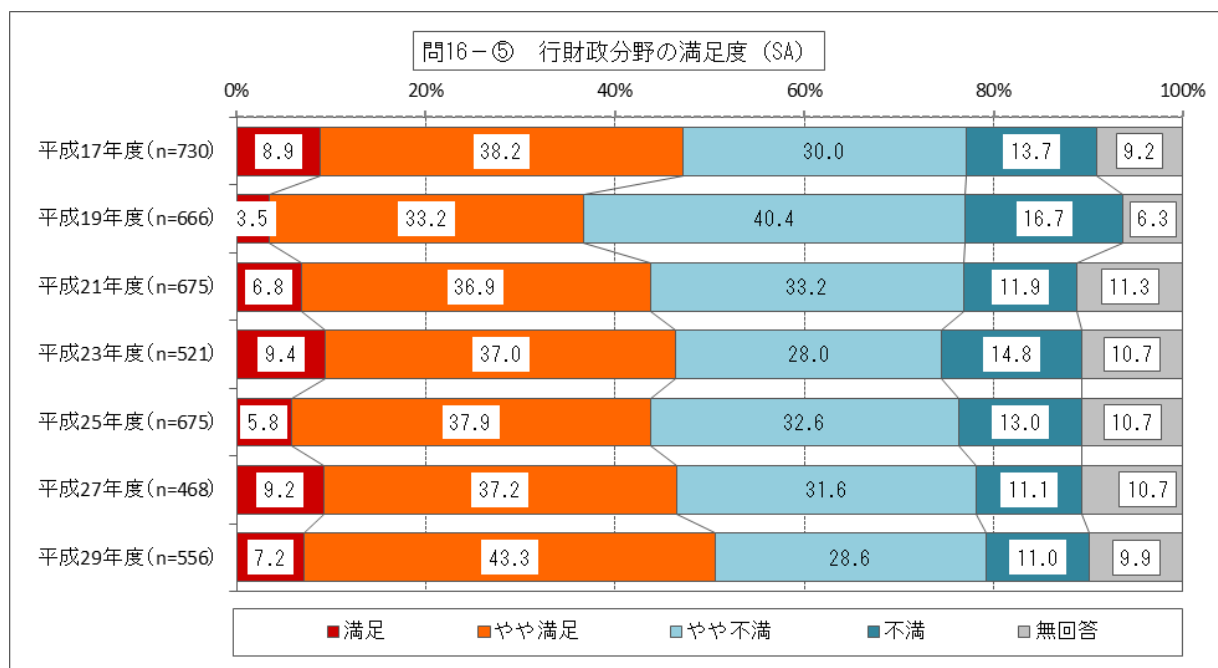
本分野の“満足”は4割前後で推移しており、他の分野と比較して低い評価が続いています。



#### ⑤行財政分野

過去実施した調査結果を比較すると、“満足”（「満足」と「やや満足」を合わせた回答）は、平成17年度が47.1%、平成19年度が36.7%、平成21年度が43.7%、平成23年度が46.4%、平成25年度が43.7%、平成27年度が46.4%、平成29年度が50.5%となっています。

本分野の“満足”は4割台で推移していましたが、平成29年度において5割を超える結果となっています。



## 問 17 町に対する意見や要望（自由意見）

町に対する意見や要望として、合計 130 件の回答がありました（※資料編に掲載）。

少子化や高齢化を背景として様々な課題が本町を取り巻いていることから、多様な意見が出されていますが、少子化、子育て、高齢者、空家、定住化、就労・仕事、観光、交通等のキーワードに関連する回答を取り上げると以下のとおりです。

### 〔少子化関連〕

- ・少子化対策ではかなり十分な事をしていると思う。(女 50～54 歳 古里)
- ・町では少子化、若者定住化対策に力を入れていますが、この町をもっと元気にするためには、町内に働く場所（仕事）を作る事が、重要ではないか？(男 70～74 歳 古里)

### 〔子育て関連〕

- ・子育て支援の強化をもっとして欲しい、無料定期検診をして欲しい。(男 25～29 歳 古里)
- ・子育て世代なため、子育て・教育の文野で、とても助かっております。また、都外からの移住者となりますが、周りの方に優しく接してもらっており、奥多摩が大好きになりました。(女 30～34 歳 古里)

### 〔高齢者関連〕

- ・今後、子供達の成長、進学等を考えた時やその先の高齢者となっていった時に果たして、満足できる町の取り組みがあるのかと不安はあります。現に今も、利用できるサービスが、子供の小さな世代にかたよっているように感じます。(女 40～44 歳 古里)
- ・高齢者が出掛けやすいように、登録制のドライバーの仕組みを作れないだろうか。(男 45～49 歳 古里)
- ・外出できない高齢者が引きこもりにならないように、介護保険サービスの充実化を。(女 30～34 歳 古里)

### 〔空家、定住化関連〕

- ・定住化対策は重要であり、若もの住宅の必要性は必要であるが空き家対策にも力を入れる必要がある。(65～69 歳 古里)(女 50～54 歳 氷川)
- ・何といっても過疎化対策が急務と考えます。どこへ行っても空家が多いしそれにともない高齢化が顕著である。(女 70～74 歳 古里)
- ・空き家も数が多い割に空き家バンクで紹介されているものは少なく、家を建てるにも土地を見つけれない状況。(女 30～34 歳 古里)

### 〔就労・仕事関連〕

- ・この町をもっと元気にするためには、町内に働く場所（仕事）を作る事が、重要ではないか？(男 70～74 歳 古里)
- ・若い人達が定住する為にも奥多摩町の良さを生かした仕事の間が多くできると最高です。(女 70～74 歳 古里)
- ・雇用ももう少し、頑張って捻出して頂かないと、他所で仕事を始めてしまい、そのまま奥多摩に戻らない若者が多くなってしまうと思います。(男 45～49 歳 氷川)
- ・子育て支援や若者住宅などの整備だけでは、住み続けたいと思える奥多摩にはならない。今後は就労支援での働き場をもっと提供する必要がある。(女 50～54 歳 氷川)

〔観光関連〕

- ・駅前（奥多摩）に売店、コンビニ等あればすごく便利だし、観光客も喜ぶと思います。（女 50～54歳 氷川）
- ・観光・産業分野に力を入れ、山・河原等のレジャー開発。（男 55～59歳 氷川）
- ・観光施設をもう少し増やすことや自然の整備をして春や秋などに観光客がもっと来たくなるような所を作ってほしい。（男 25～29歳 古里）
- ・観光地として、もっと町のPRを積極的に発進して知名度を上げていった方が良いと思います。（女 30～34歳 古里）

〔交通関連〕

- ・交通機関を便利にして欲しい。（男 50～54歳 氷川）
- ・交通手段が困難。バスも通っていない、夜間タクシーもない）坂道も多く高齢者にとっては歩くのも大変です。それぞれ地域の実状に応じた行政サービスをお願いしたいと思います。（女 70～74歳 氷川）
- ・定住する為にはもっと交通の便を良くし若者の通勤可能が必要だと思っています。（女 60～64歳 古里）
- ・年々不便になる交通機関。電車の時間の減らされ方には、ガッカリします。代行バスが欲しいです。（女 70～74歳 古里）
- ・独身で働いている立場としては、交通の面が大変になってしまい、素敵な場所だと感じて離れざる得ない状況になってしまいます。（女 30～34歳 氷川）
- ・JR線も、更なる間引き運転を敢行しようとしていて、交通機関も更に不便になりつつあります。これ以上不便にさせない為にも、奥多摩町を挙げて、減便させないように働きかけて欲しいと思います。（男 45～49歳 氷川）

### Ⅲ. 資料

## 奥多摩町まちづくり住民アンケート調査

### ご協力をお願い

平素より、奥多摩町の行政運営へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、奥多摩町では平成 27 年 3 月にまとめました『第 5 期奥多摩町長期総合計画』に基づき、新たなまちづくりをスタートさせていただきました。この計画の推進に当たりましては、多くの住民皆さまのご協力を賜りますよう、改めてお願いを申し上げる次第です。

さて、『第 5 期奥多摩町長期総合計画』は平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間にわたる計画ですが、「住みたい 住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩」づくりに向け、「人 森林 清流 おくたま魅力発信！」というキャッチフレーズのもと、これまで以上に活力あるまちづくりを進めていく所存でございます。

そのため、このアンケート調査は、『第 5 期奥多摩町長期総合計画』の進捗状況を住民の皆さまの視点で評価していただくとともに、まちづくりに対する日頃のお考えや将来への夢、ご提案などをいただき、今後の行政運営に活かし、より良いまちづくりのために実施するものです。

時節がら何かとご多用のことと存じますが、これからの奥多摩町のために、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 2 月 15 日

奥多摩町長 河村 文夫

#### ご記入に際してのお願い

1. 本アンケートは、住民基本台帳から 1, 500 名を無作為に抽出し、ご送付しています。したがって、アンケート票には可能な限りご本人がご記入ください。もし、ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などのご協力をお願いします。
2. 該当する選択肢の番号を○で囲んでください。
3. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて **2月28日（水）までに** ご投函ください。（※切手を貼る必要はありません。）
4. アンケート票は機械的に処理されますので、回答者ご本人が特定されることはありません。
5. 記入の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までをお願いします。

【お問い合わせ先】 奥多摩町 企画財政課 企画調整係

TEL (83) 2360 (直通)

【問 1】 あなたの性別は

1 男	2 女
-----	-----

【問 2】 あなたの年齢は

1 16歳～19歳	2 20歳～24歳	3 25歳～29歳
4 30歳～34歳	5 35歳～39歳	6 40歳～44歳
7 45歳～49歳	8 50歳～54歳	9 55歳～59歳
10 60歳～64歳	11 65歳～69歳	12 70歳～74歳
13 75歳以上		

【問 3】 あなたの家族構成は

1 夫婦のみ	2 二世帯世帯	3 三世帯世帯
4 単身世帯	5 その他 ( )	

【問 4】 あなたは現在既婚ですか、それとも未婚ですか

1 既婚	2 未婚
3 その他 ( )	

【問 5】 あなたのお住まいの地区は

1 古里	2 氷川	3 小河内
------	------	-------

【問 6】 あなたは、現在の奥多摩町の住み良さをどのようにお感じですか。次の中から 1つだけ選んで、番号に○印 をつけてください。

1	住み良い	2	どちらかといえば住み良い
3	どちらかといえば住みにくい	4	住みにくい
5	どちらともいえない	※3・4 選択の理由： ( )	

【問 7】 あなたは、これからも奥多摩町に住み続けたいですか。次の中から 1つだけ選んで、番号に○印 をつけてください。

1	住み続けたい	2	どちらかといえば住み続けたい
3	どちらかといえば住み続けたくない	4	住み続けたくない
5	どちらともいえない	※3・4 選択の理由： ( )	

【問 8】 あなたは、住民の意向が町政（まちづくり）にどの程度反映されているとお感じでしょうか。次の中から 1つだけ選んで、番号に○印 をつけてください。

1	よく反映されている	2	ある程度は反映されている
3	あまり反映されていない	4	全く（ほとんど）反映されていない
5	わからない		

【問 9】 奥多摩町のまちづくりへの取り組みについて、あなたはどのようにお感じでしょうか。次の中から 1つだけ選んで、番号に○印 をつけてください。

《※添付資料 2 をご参照ください。》

1	満足できる取り組み状況である	2	どちらかといえば満足できる取り組み状況である
3	どちらかといえば満足できない取り組み状況である	4	満足できない取り組み状況である
5	わからない		

【問 10】 奥多摩町では、町政・まちづくりへの住民参加が実現しているとお感じでしょうか。  
次の中から 1つだけ選んで、番号に○印 をつけてください。

1 実現している	2 どちらかといえば実現している
3 どちらかといえば実現していない	4 実現していない
5 わからない	

【問 11】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、住民の皆さまの幸福度向上を目指すこととして  
います。そのため、現在のあなたご自身の幸福度をどう評価しますか。  
次の5つの幸福要素 それぞれについて、「1（思う）」～「4（思わない）」の中から、  
1つずつ選んで、番号に○印 をつけてください。

幸福要素	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
あなたは「心身ともに健康である」と思いますか	1	2	3	4
あなたは「豊かな自然環境が守られている」と思いますか	1	2	3	4
あなたは「健やかに育まれている」と思いますか	1	2	3	4
あなたは「経済的に大きな不安がない」と思いますか	1	2	3	4
あなたは「地域社会やまちづくりに参加している」と思いますか	1	2	3	4

【問 12】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、目指す将来像の実現に向け『奥多摩創造プロジェクト』を重点的に推進することとしています。この奥多摩創造プロジェクトを推進する  
にあたり、現在の状況をあなたはどう評価しますか。

次の4つのプロジェクト それぞれについて、「1（進んでいる）」～「4（進んでいない）」の中から、1つずつ選んで、番号に○印 をつけてください。

《※添付資料1をご参照ください。》

奥多摩創造プロジェクト	進んでいる	やや進んでいる	あまり進んでいない	進んでいない
「出会い・暮らし」プロジェクト	1	2	3	4
「子育て・教育」プロジェクト	1	2	3	4
「仕事」プロジェクト	1	2	3	4
「住まい」プロジェクト	1	2	3	4



【問 13】 『第5期奥多摩町長期総合計画』では、5つの行政分野に計17の施策の方向（主要施策）を定めています。この17の施策についての「満足度」、また、「今後の重要度」について、あなたの評価（お気持ちにもっとも近いもの）をそれぞれについて1～4の中から1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

分野別のまちづくり施策		満足度				今後の重要度			
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
1-1) 誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①健康寿命の延伸 ②健（検）診体制の充実 ③地域医療体制の充実 ④医療保険制度の適切な運営								
1-2) 安心して子どもを産み育てる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①子育てを応援する地域づくり ②きめ細やかな対応が必要な子どもへの支援 ③若者のめぐりあい支援対策の充実								
1-3) 高齢者が生きがいをもって暮らせる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①高齢者が安心して暮らせる地域づくり ②適切な介護サービスの確保 ③高齢者の生きがいづくり								
1-4) 障がい者が自立して生活できる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①障がい者の地域生活支援の充実 ②障がい者の社会参加・雇用の促進								
1-5) 心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①地域ぐるみでの支え合いの促進 ②福祉の地域づくりの推進 ③住民との協働による地域の活性化 ④生活弱者を支える地域づくり								

分野別のまちづくり施策		満足度				今後の重要度			
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
2-1) 自然とともに歩むまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①循環型社会の形成 ②豊かな自然・生態系の保全、環境まちづくりの推進 ③資源循環型社会形成、身近な生活ルールの普及 ④道路の整備 ⑤公共交通システムの充実 ⑥上下水道の整備								
2-2) だれもが住みたくなる心かようまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①小さなコミュニティを活かす活動の促進・活気づくり ②女性の元気を活かすまちづくり ③高齢化に対応する防災体制づくり ④みんなの協力による防犯・空家対策 ⑤スローライフのPRによる住宅・若者定住対策								
3-1) みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①大人を元気にする生涯学習プログラムの作成・推進 ②住民協働の教育のまちづくり ③人材交流のまちづくり								
3-2) 豊かな能力と強いところを育むまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①奥多摩の教育の情報発信 ②新たな奥多摩教育の検討推進 ③奥多摩の教職員への支援 ④水源教育の実施 ⑤家庭での教育力の向上								
3-3) 誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①子どもの体力向上の推進 ②ニュースポーツの積極的導入と推進 ③スポーツ関係団体の連携 ④施設活用の充実								
3-4) 伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①郷土芸能団体と行政の協力による、郷土芸能の保全 ②奥多摩の郷土芸能の情報発信 ③奥多摩芸術の情報発信 ④美術館の環境整備 ⑤美術品等の保管場所の確保 ⑥文化財の保全と継承								

分野別のまちづくり施策		満足度				今後の重要度			
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
4-1) 奥多摩だからこそその体験・交流観光の展開		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①住民が元気になる交流観光づくり ②健康と癒し環境の提供 ③アウトドア活動の拡充 ④交通、宿泊施設等受け入れ環境の整備 ⑤観光商品企画の推進								
4-2) 奥多摩ならではの地域産業の推進		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①森林の整備と木質資源の活用 ②奥多摩産物の生産・出荷・販売の仕組みづくり ③起業、事業おこしの促進 ④観光との連携								
4-3) 観光・産業づくりを推進する力の強化		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①人材と組織の育成 ②奥多摩の情報提供と受発信の強化								
5-1) 官民協働による定住対策とまちづくり		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①官民協働による総合的な定住対策の推進 ②住民と行政による協働体制の構築								
5-2) 成果を重視した行政改革の推進		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①時代に対応した柔軟な行政組織と職員の育成 ②客観的評価に基づく行政評価制度の導入と公表 ③周辺市町村との連携による効率的な広域行政の推進 ④情報強化の推進とセキュリティの強化 ⑤広報・広聴の充実								
5-3) 身の丈にあった健全な財政運営の推進		1	2	3	4	1	2	3	4
【内容】	①計画的、重点的な財政運営の推進 ②財源確保による財政基盤の安定化の推進 ③身の丈にあった財政の健全化								

【問 14】 『第5期奥多摩町長期総合計画』の前期基本計画において、住民の皆様の満足度を評価の基準とすることとしている主要施策があります。

あなたの評価（お気持ちにもっとも近いもの）を、以下の主要施策 それぞれについて 1～4の中から1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

主要施策の評価指標	満足度			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である
「健康の自己管理意識の普及・啓発」の満足度	1	2	3	4
「生涯安心して暮らせる（医療保険）制度の推進」の満足度	1	2	3	4
「地域でお互いをささえあう環境づくり」の満足度	1	2	3	4
「循環型社会の形成」の満足度	1	2	3	4
「豊かな自然・生態系の保全、環境まちづくりの推進」の満足度	1	2	3	4
「資源循環型社会形成、身近な生活ルールの普及」の満足度	1	2	3	4
「町道や生活道路の整備」の満足度	1	2	3	4
「利用しやすい交通手段の充実」の満足度	1	2	3	4
「生涯学習の推進」の満足度	1	2	3	4
「健全な青少年の育成」の満足度	1	2	3	4
「奥多摩ならではの教育の実施」の満足度	1	2	3	4
「水源教育の実施」の満足度	1	2	3	4
「家庭教育への支援、推進」の満足度	1	2	3	4
「文化財の保護と活用」の満足度	1	2	3	4
「住民提案の活用や、住民と行政の協働」の満足度	1	2	3	4
「職員の対応等」への満足度	1	2	3	4
「施策評価実施結果」の満足度	1	2	3	4
「周辺市町村との連携」の満足度	1	2	3	4
「財源の確保」の満足度	1	2	3	4
「まちの財政の健全化」の満足度	1	2	3	4

【問 15】 あなたは、現在の奥多摩町の行政運営に満足していますか。次の中から 1 つだけ選んで、番号に○印 をつけてください。

1	満足している	2	どちらかといえば満足している
3	どちらかといえば不満である	4	不満である
5	どちらともいえない	※3・4 選択の理由： ( )	

【問 16】 あなたは、現在の奥多摩町の分野別行政運営に満足していますか。次の 5 つの分野 それぞれについて、「1 満足」～「4 不満」の中から 1 つずつ選んで、番号に○印 をつけてください。

健康・福祉分野	→	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満
生活・環境分野	→	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満
教育・文化分野	→	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満
観光・産業分野	→	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満
行財政分野	→	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満

【問 17】 町に対するご意見やご要望がありましたら、何でも結構ですからご自由にお書きください。


調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の封筒に入れて、

2月28日（水）までに お近くのポストに投函してください